



助字詳解

三

ホ 4
1867
3



Red square seal impression, likely a library or collection stamp.

助字詳解卷三目次

可

合

合

合

合

合

合

期

期

期

當

當

當

當

當

當

當





助字詳解卷三目次

可	一丁	宜	二丁	當	三丁	容	四丁
合	四丁	該	五丁	夫	五丁	彼	六丁
蓋	七丁	使	八丁	令	九丁	俾	十一丁
遣	十二丁	教	十三丁	頗	十三丁	聊	十三丁
况	十四丁	矧	十五丁	因	十六丁	由	十六丁
自	十七丁	從	十九丁	繇	二十丁	豈	二十丁
寧	廿二丁	無	廿四丁	如	廿四丁	若	廿五丁
猶	廿八丁	苟	廿九丁	儻	三十丁	即	卅一丁

助字詳解

卷三目

脱 世一丁

如若 世二丁

足 世四丁

者 世五丁

果 世七丁

必 世七丁

期 世九丁

要 世九丁

計 四十丁

其 四十丁

厥 四十二丁

本 四十二丁

故 四十三丁

雅 四十四丁

素 四十五丁

固 四十六丁

[Faint background text and bleed-through from the reverse side of the page]



助字詳解卷之三

平安 皆川愿伯恭 著

男允君猷 全

門人 中川恪慎卿 校

可

物ノツリ合ヒノ持チ合フテ立ツガ可ノ字ノコ、口ナ
リ、タトヘバ、摺小木ヲ定木ニツカフニ、ブレニモ其行キ
合ガヨクカナフ、ニナルト云フ様ナル、ニハ、可ト云
ナリ、秦漢ノ頃ヨリ、天子ノ臣、下ノ言上スルトコ、口ナ
ナリトテ、其旨ニ執リアツカフ、ヲ許シタマフ、辞ノ降
リタルヲ書シテ、制曰可ト云フモ、其言ノ通リニシテ、其
事ノ行合ガヨロシカラフト云コ、口ナリ、サレバ、此可

可ノ字ハ單言シテモ、セヒ其下ニ畧析シタル語アリト
 知ルベシ詩小雅ニ始者不如今云不我可トイヘルハ始
 ノコロハ只今ノ辭ニ我ヲ與ニ言フベキモノトセヌ
 ニヨリテ往キテ暗ハ又ト云ヤフナル辭ヲナセルトニ
 ハ往カナシダト云フナリ可下ノ略析イヅレモ此ヲ
 以テ推シ知ルヘシ詩陳風ニ衡門之下可以棲遲泌之洋
 洋可以樂飢トイヘルハ衡門ハ屋根ナクテ其上ニ一ツ
 ノ横木アルバカリノ門ナレバトヨリニシテシ
 バラク其処ニ足ヲトメテマレバトマラルトナリ
 ト云フナリ又泌ハ小流ナレバト觀シテ洋々タル
 大水ナリトシ思ヘバ食タラヌト思フモノナレバ其飢
 ヲモブレヲ願テタノシムトナルベシト云フナリ東
 門之池可以漚麻トイヘルモ池ハ川水ノ如クニハアラ
 子氏其池ヲ以テ麻ヲツケテガカスト用ユレバ用
 ヒラルト云フナリ彼美淑姬可與晤歌ハ彼ニ美ナリ
 ト見ルトコロノ淑姬アラバブレニ近ヅキ親シムニナ

宜

リテハ其淑姬ガ又ワレトモニ晤歌スルトニスレバ
 レニモナシユカレト思フベシト云フナリ史記陳
 平世家ニ及平長可娶妻富人莫肯與者トイヘルハ陳平
 ガ年二十ニモナリテ妻ヲ迎ヘテモヨキ頃ニナリテモ
 富人ハ得心シテ女ヲ與ニトスルモノガ出テ來ナシダ
 ト云フナリ劉敬傳ニ使者十輩來皆言匈奴可擊ト云ル
 ハ使者ノ歸リ來ルモノ十人バカリガ皆匈奴ハ兵ヲヤ
 リテ擊ツトニスルニホドガ往キ合フトナルヤフス
 ナリト云フナリサレバ可ノ字ハトカク物ノ恰好ノヤ
 フス人此方ノフヲ以テユクニホドヨク行キ合フ
 ニナラフト云フヲ語ルニ用ユル字ナリ晋人ノ語ニ人
 ヲ評シテ可人也トイヘルモヤハリ與ニ言フベキ人ト
 云フコトナル
 此字六書精蘊ニ云ルニ一ハ字ナリ且ハ組ナリ古ノ組
 ノ制ハ其座室ノ大小ニ準ジテフノ処ヘスエテツリ合
 ヲク叶フヤフニ制スルモノナル故ニ宜ノ字ハ物ノ其

処ニスハル恪好ノツリアフヲ云フニ用ユル字ナリ
 トイヘリトカク其場処ト物ノ持合ノヨキヲ云フ字ナ
 リ此餘ハ尚虚字詳解ニ出ス考ベシ助字ニ用ユルトキ
 モ其恰好相應ナルヲ云フニハ此字ヲ用ユル史記酷吏傳
 ニ張湯ガ奏請セントスルヲバ田信ト云モノ輒先知
 リテ其物ヲ買納レテ富ヲ致シテ湯トシテ分チタル
 ヲ天子其事ヲ知リテ湯ニ問テ曰吾所為賈人輒先知之
 益居其物是類有以吾謀告之者トアリシニ湯不謝湯又
 詳驚曰固宜有トイヘルハ湯ハ直ニ自分ノ過ナルヲ謝
 スベキニ謝セズ又イフワリテオドロキタル顔付ニ云
 シダヒニ左様ノモ有リサフナルヲナリト云ルナリ
 佞幸傳鄧通カ文帝ノ為ニ癰ヲ啗吮シタリシニ文帝不
 樂ニシテ從容トシテ通ニ問テ曰天下誰最愛我者乎通
 曰宜莫如太子トイヘルハ太子ノ帝ヲ愛スルボトニユ
 クモノハ出テ來マジト申スガ其恰好ナルヲナリト
 云タルナリ李斯傳ニ將軍恬與扶蘇居外不匡正宜知其

當

謀トイヘルハ蒙恬太子扶蘇一所ニ外ニ居リナカレ其
 非ナルヲ正サレカハラハ其謀及ノヲ知テ居ルト
 云フヤフナ恰好ナルヲナリト云タルナリ唐詩ニ軍中
 宜劍舞ナド云タルハ是モ恰好ノ相應スルヲ云タル
 モノナリ然レモ漢人ノ宜ノ字ノ用タル意味ヨリハ少
 シ淺ハカナル用カタナリ
 此字ハ物ノ向フノ内ニアルガ此往キ向フスチノサキ
 ニナリアリテフサギアタルヲ云詳ナルヲハ虚字詳解
 ニ出セリ考フヘシ助字ニ用ユルニモヤハリ同シ意持
 ニテ使フサレモ虚字ノ時ニハ物が眼前ノ象ニアタリ
 テ向フスチニフサガリアタルヲ用ユルヲ多シ助字
 ノ云フトコロハ目算ノ上ニテカヤフノ事又ハ物が其
 向フノスチニフサガリアタルト云フニ用ユル是其別ナ
 リ史記黥布傳ニ人相之曰當刑而王トイヘルハ刑セラ
 レテソレカラ王トナルヲナリユクヲ相ニ應ズル
 ヲニテサキノアタリニナラフト云フナリ陳平世家ニ

疑其亡將要中當有金玉寶器トイヘルハ陳平カ舟ニノ
リタルヲ見テ舟人ノ心ニ此ハ落武者ニ元腰中ニハサ
ガシタラバ金玉寶器アリタリト云フガサキノアタリ
ニナラフト思タリト云フナリ張釋之傳ニ文帝曰吏不
當若是邪トイヘルハ吏タルモノハ是カ、リユクガ役
相應ニテサキノアタリニナルト云フニハ往カヌカト
云フナリ淮南王傳ニ即宮車一日晏駕非大王當誰立者
トイヘルハ天子ガモシ崩御ナリタラバ大王テナクハ
誰ト云モノガサキノアタリニナルモノグ立ツト云フ
モノニハト云フニテ立者ノ二字補填シテ言添ヘタル
モノナリ後世ニテハ同シ用ヒカタナレ其趣少シア
サシ世說品藻ニ殷侯既寢桓公語諸人曰少時與淵源共
騎竹馬我棄去已輒取之故當出我下ト云ルハ少カリシ
時殷ト共ニ竹馬ニノリタルニ我棄去ル竹馬ヲハ自分
ハヤニハニフレヲ取リタリシタヒカラガ我下ニ出ル
カサキノアタリニナル器量ナリト云タルナリ言語ニ

容

丞相自起解帳帶塵尾語殷曰身今日當與君共談折理ト
イヘルハ庾亮ハ丞相ニテ殷浩ハ長史ナレバ帳ヲ隔テ
テ對スベケレ也談理ノ事ハ別ナルト故ニ自カラ起テ
帳ヲ解キ去リ塵尾ヲトリテ殷ニ語リテ身今日ハ君ト
共ニ談ジテ理折ツトラスルト云フニナリアタラフト
云フナリ正始之音正當爾耳トイヘルハ正始ノ音ト云
フナラバテウド其トオリニアルガワレニナリアタラ
フスデヂヤト云タルナリ右ノ如ク漢ノ頃ノ用ヒカタ
ヨリハ意味少シ淺シ
物ノ内ノアキタル処へ物ヲハマラシイルトナリ詩
衛風ニ誰謂河廣曾不容刀トイヘルハ舫ト同ジ小舟
ノ下ナリ河ノ内ノアキタル処又一向ニ小舟ヲモ容レ
又トハ誰カ謂フズト云フナルガ後世ノ文ニ此容ノ字
ヲ轉ジテ可ノ字ノ如クニ用スルトアレバ多ハ不容豈
容ト云ニ用テ單用スルト希ナリ不容豈容ノ法ハ多ト
ハバ足痛不容有出郊トナドト如キ足カ痛トナラ

合

郊外ニ出タト云フガ有ルト云フハ其処ヘハハマラ
 又ハツチヤナリ以テ三杯醉者豈容能飲一斗乎ト云如キ
 ハ三杯ニテモ酔ト云モノガ其左様ニアルニ能ク一斗
 ラ飲ムト云フガ其処ヘハマラフカト云フナリ此類ニ
 テ其他ハ推シ知ルベシ
 合ハタトヘバ香合ノ如クニ蓋ハ其身ノ方ヲ内ヘ付カ
 シ身ハ其蓋ノ方ヲ内ヘ付カシテ兩方ヨリ打合テツク
 一ニスルヲバ合ト云虚字ニ用ユルノ義ハ詳解ニ出セ
 リ助字ニ用ユルハ六朝已後ヨリ起リタルガ傳劉從
 益説ニ若人端合夢中求トイヘル合ノ字テウドスワア
 ルニスルニ打アフフニナルト云キ三ノ世説賢媛補
 蕭宗宴於宮中蕃將河布思法ニ伏シテ其妻掖庭ニ配シ
 テ樂工ニ隸シテ舞タル又政和公主ヲ欲ズシテ其
 妻亦同於刑人不合迫至尊之座トイヘルモ刑人同罪々
 ルベキモノナレバ天子ノ座迫ルニハテウドソウアル
 ニハ打アフワヌト云フナリ俗語水滸傳ニ多ク見ユ五十

夫

四回ニ合者朝廷差遣將軍前來収捕本合延頸就縛但恐
 不能存命因此負罪トイヘルモテウドソウアルニスル
 ニ打アフト云フナリ又小子被擒之人理合就死何故將
 軍賓禮相待トイヘルモ理ニアテハ死ニ就ニスルニ
 打アフト云フナリ第三十八回ニ也宋江命渾合受苦
 撞了這箇對頭ト云ルハコレトテモ宋江ガ命ガゼニタ
 ヒニ苦ヲ受ル運ニ打アフテト云フナリ

該

此ハ該備ト云コ、ロニテ物ノカズノアルヘキダケ人
 ノコラスフナワルヲ稱スル字ナリ此モ詳解ニ出セ
 リ助字ニ用ユルトキモ右ニ同ジナリ正字通ニ俗借
 為該當之稱猶言宜也凡事應如此曰該トイヘル右ノ通
 リノ義ナル故ニ此字ハ總テ法數ノ當リ前ヲ暗ニ立テ
 置キテサテ如此ニエケバ其アタリニエニカナフト云
 コ、ロニ用ユルハ二テ禮又ハ法律又算法ナドノ書ニ
 ハ此字ヲ用タルハ多ク俗語ニモ右ノトオリノ語意ノ
 處ニハ用タルハアリ明律斷罪無正條ニ凡律令該載不

夫

盡事理若斷罪而無正條者トイヘルハ律令ノ文中ニ
 載スル一ガアタリエナルニ事理ヲ盡サズト云ナ
 リ石點頭第七ニ說便如此也只該在自已心上轉個念頭
 罷了又不合附着鄭無同耳上說如此トイヘルハ說
 クトハバヤカヤフナレトタバ自己ノ心上ニカ
 念頭ヲ轉シテ罷了ニスル一ガ當リマエノ仕方ニカナ
 フトナルベク又鄭無同ガ耳ニ附テカヤフクト說ク
 ハアリクムナキ一ナリト云フナリ又云發願若得名
 即便營葬不過是陰功善事原不該着孝服トイヘルモ發
 願シテ若シ及第シテ名成サバ即ニ營葬セント云タマ
 ヒタルニテ陰功善事ト云バカリノ一ナレハ根原ノト
 コロガ喪服ヲ着ラルガアタリマエニカナフト云フ
 一ハユカ又一ナリト云フナリ數ノ該當法律ノ該當ヲ
 言フノ語勢モ是等ヲ推シテ例シ知ルベシ
 此字已ニ前ニ出セリ此夫字古篆ニ火如此ニ書ク一ニ
 テ本一人アルヲ向フニ置キテフレヲ指シ云フナリ故

鄭

本邦ノ人古ヨリ此字ヲ語首ニ施シタルヲハソレト讀
 ムハ疎ナル讀カタナリカノト讀ムキナリ禮檀弓ニ
 曾子襲裘而弔子游揚裘而弔曾子指子游而示人曰夫夫
 也為習於禮者如之何其揚裘而弔也トイヘルハ子游ガ
 曾子ノ立チ居レル処ヨリハ餘程間ヲヘタテアリタ
 ルヲコチヲヨリソレヲ指シテ人ニ見セテカレニ立チ
 テ居レル丈夫ハト云ルナリ檀弓ニ又仲憲言於曾子曰
 夏后氏用明器示民無知也殷人用祭器示民有知也ト云
 タルニ曾子曰其不然乎其不然乎夫明器鬼器也祭器人
 器也トイヘルハ仲憲カ言ニイロタル明器祭器又其カ
 向フニ見居ルモノニシテフレナリニ指シ稱シテ夫明
 器トイヘルナリ又聞人ノ始ヨリソレヲ向フニ見居リ
 タルニハ非サレト語ル人ヨリ其聞人ノ心ニ始ヨリソ
 レヲ世ニアルモノニシテ思ヒ居リタルヲフレヘ心ヲ
 アテサセテ指シ云フコトニテ夫ト稱シ云フアリ史
 記貨殖傳夫神農以前吾不知已トイヘル孟嘗君傳ニ君

彼

獨不見夫朝趨市者乎ナドイヘル。並ニ同ジコ、口モチ
 ニ元夫ノ字ヲ用タルモノナリ。向フヘノキアルモノニ
 心ヲ付ケサセテ、ソレヲ指シ言フニ、夫ノ字ヲ用ユル
 ナル故ニ、イヅレニモ、別ニ一端ヲ起シテ、其事ヲ推シ立
 テ、言ニトスルニハ、必ズ此夫ノ字ヲ用ユベキナリ。
 テ此字ハ此ノ反對ニテ、我が身ヲツケテ居ル処ヲ指シ
 ル其内ヲ指シテハ、彼ト云フナリ。詩召南ニ、何彼穠矣ト
 云ルハ、何ト云モノテアラフ。彼ナル処ニ穠ナルニナ
 リテアルハト云フナリ。彼、莖者、發、壹、發、五、犯トイヘルハ、
 彼ナル処ニモ、五、出ル、發ハ、數モ限リモシレヌ。ソレガ
 フレヲ矢ニ作りテ、四、本ヲ一、發トスルニ、ソレガアル
 べシト云フナリ。邶風ノ汎、彼、栢舟トイヘルモ、汎、然トナ
 リテ、彼ナル処ニアル栢舟ト云フナリ。玉風ニ、彼、其、子
 トイヘルハ、彼ナル処ニ往キタラバ、其処ニ之、子ト稱ス

蓋

ル女ニアフアルベシトスルニト云フナリ。史記伯夷
 傳ニ、登、彼、西山、采、其、薇、矣トイヘルハ、彼ナル西山ニホ
 リテアルナラバ、其処ニ薇ヲ采ルアルベキガト云
 フナリ。商君傳ニ、彼、王、不能、用、君、之、言、任、臣、又、安、能、用、君、之
 言、殺、臣、乎トイヘルモ、彼ナル処ニ王ト云フニ、王ヲサシ
 テ、彼ト云タルニハ、非ズ、王ヲ指シ云フナレバ、夫ノ字ナ
 リ。彼ノ字ハ、トカク此方ニ居リテ、アチラニアル内ニテ
 ノ様子ヲ推シハカリテ云ハントスルガタメニ用ユル
 字ナリ。論語ニ、彼、哉、彼、哉ト云タマヘルハ、一向ニ此方ノ
 引ナラビニ入云フベカラズ、アチラノ処ノトニ問ヲ及
 ホセルカヒト云々ニヘルコ、口モチニテ、云タマヘル
 ニテモ、彼ノ字ハコト界疆ヲ別ニシタル処ヲ稱シ云
 フノ旨ナルヲ、明白ナルベシ。
 車、上ニ人ノ坐スル処ヲ、日ノ照シ、雨ノフルトナドヲ
 セグタメニ、上ノ方ニカサヲ建テ、コレヲ掩フ。其カサヲ
 蓋ト云、日影又ハ雨ナドノフレニナリユクヌ、宙ニタナ

切テ、コナラノ内ニモツト云コ、ロニテ、何ニテモツレ
ヲムツカシキコトヲ、段々ニサガシテユクベキヲ、宙ニ裁
断ヲ加エテ、ナニデモカヤフノコトナリトシテ云ニハ、並
ニ此蓋字ヲ用ユ、易坤文言傳ニ、履霜、堅冰至、蓋言順也ト
イヘルモ、履霜云云トイヘル辞意ヲ、段々逐ヒテ其ツケ
ヲ推シ言フベキトコロヲ、宙ニシキリテ、ツレヲ際畧シ
テ、スベテツレヲコメタルコトニシ言ヘバ、地道ハ順ナル
モノニテ、ツレヲウケテ、サテ其勢ニ順ニナリクシテユ
ク物ナル故ニ、此ノ如シト云コ、ロナリ、易曰、括囊、无咎
无譽、蓋言謹也トイヘルハ、囊ノ口ヲク、リシメタル如
クニシテ、咎モナク譽ノナキニヒントスト云ノ心得ヲ、
サマぐニ説キノブケレト、宙ニ裁断シテズベテツレ
ヲコメタルニシ言ヘバ、謹ンテユクコトヲ言タルナリト
云コトナリ、史記外戚傳ニ、孔子罕稱命、蓋難言之也トイヘ
ルモ、其事ノシカアリシヲ、宙ダメニ引ク、リテ、其意ノ
コモリタル処ヲモチテ云ヘバ、ツレヲ言フコトヲ難シジ

使

テノコトナリト云コトナリ、スベテ何事ニテモ、其事ノ委細
ニスレバナルベキコトナルヲ、宙ニ裁断シテ、其主要トス
ル処ヲモチテ云フニハ、皆此字ヲ用ユ、孝文帝紀ニ、遺詔
曰、朕聞蓋天下萬物之萌生、靡不有死トイヘルモ、略シテ
言ヘバ、セニタヒノ道理ヲ引ツマミテ言フニト云コ、
ロナリ、又事ヲ叙テ言フニ、際略ノ処ヲ引ツマミテ言フ
ニハ、蓋ナリ、伯夷傳ニ、太史公曰、余登箕山、其上蓋有許由、
冢云トイヘルハ、余箕山ニ登リテ觀タリシ、其山上ニ十
ニ、モセヨ許由カ冢アルト云コトテアツタト云コトナリ
此蓋ノ字、古書ニ多ク蓋ノ字ヲアヤマリテ、蓋ノ字ニ書
ケルモノ多シ、詩魏風ニ、其誰知之、蓋亦勿思ノ蓋ナト、蓋
ノアヤマリナリ、此類甚多シ、
此字ハ本使役ノ使ニテ、物ノワザヲナシユクヲ、其処ニ
ツワセヤリテ、其先キノ方ノ承ケニトマルニスルコトヲ
其内ニモツコトニシカ、ラスト云コトニテ、タトヘバ、捧ナ
レバ、其先ヲ其向フノ処ニツワセヤリテ、其先ノ承ケニ

コタユルヤフニ其内ニモツトニシテカ、ラス又使捧
 云、使、人、云モ、ヤハリ其ガワ、サヲ其先ヘユキテスル
 ニシテカ、ラスヲ云、使、帆、ト云モ、帆ノハタラキラ、風
 ラウクル方ニシテカ、ラシユクナリ、使、氣、ハ、氣、
 ズイラスルナリ、助字ニテモヤハリ右ニ同シコ、ロ
 ニテ用ユルナレ、助字ニテハ、其、使、ム、ルトコロ、其物
 ニ對シテ、カヤフニスルワザヲサセントスルカ、又ハ其
 処ニ向ヒテ、カヤフニスルワザヲサセントスルカト云
 フ類ノ、法、用ノ象ヲ設ケテ、ソレヘハ、メテ、其物ヲツカフ
 一ニスルト云ガ、使ノ字ナリ、サレバ、此使字ハ、其向フニ
 勇ヒ行カスベキス、チヲ目ガケテ、物ヲソレヘハ、タラカ
 ストニシテユカスコ、ロニテ、精神ヲ專ハラ其ユカス
 ベキス、チニ屬シテ居ルコ、ロアリト知ルベシ、論語ニ
 季子使、閔子騫為、費宰トイヘルハ、費ノ宰ノナスベキワ
 ガノアル処、閔子騫ヲソレヘハ、タラカス、トニシテ行カ
 ンニトシタルコトナリ、使、女、多、財、我、為、之、宰、ト云タマヘル

ハ、サキノ處ニ汝ヲ多財ト云ニナルトニハ、ノユカシテ
 我ハ其キリモリヲシワクルノ宰タラント云タマエ
 ナリ、禮檀弓ニ、吾與女事夫子於洙泗之間、退而老於西河
 之上、使西河之民疑女於夫子、爾罪一也、トイヘルハ、吾ハ
 女、孔子ニ洙泗ノ間ニ事ヘテ、女ガ分際ヲ能ク知リテ
 知レタルコトナルニ、汝退キテ西河ノ上ニ隱居シタルハ
 西河之民ヲシテ、汝ヲ孔子ニモオトラザルヤフニ思フ
 処ヘ民ヲハメユカス、トニシタルハ、女ノ罪一ツナリト
 云タルナリ、李將軍傳ニ、天子以為李氏世將、而使將八百
 騎、トイヘルモ、八百騎ニ將タルワザノ処ヘ、李將軍ヲハ
 メユカスニシテユク、トニシタルト云、トナリ、孝文紀ニ、布
 告天下、使明知朕意、トイヘルモ、明ニ朕意ヲ知ルト云モ
 ノニナル処ヘ、天下ノ民心ヲバハメテユカス、トニシテ
 ユケヨト云、トナリ、世說賞譽ニ、阿見子敬尚、使人不能已
 トイヘルハ、阿ハ謝車騎ガ小名ナリ、其方子敬ヲ見ヨ、子
 敬スラ尚人ヲバ己ム、ト能ハズシテ敬スル處ニハ、メテ

令

ユカスノニスルト云フナリ此字ハ尚下ノ令字ノ條ニ
 テ併セ論ズルニテ其別ヲ辨ジ知ルベシ
 此本命令ノ令ナリ令ハ又鈴ト同ジコ、ロモ千ナル字
 ナリ鈴ノ内ニ合ミモ千タル珠ヲ鈴ノ外ツラニアタラ
 シテ響ヲモタスヲ手ノフリテフレヲウクルヲサ
 マクニシテツレヲスワラスガ鈴ナリ人ノ内ニ持タル
 神氣ヲ己ニ其ヲウケトマラシトリイレテ其我がウケ
 ヤフヲ格別ニシテツレガ心ヲ己ニスワラスガ令色令
 儀ノ令ナリ民ノ身ノ用ヲ己ニ引ツケ内ノモノニシテ
 フケテ別ナルヤフスニスワラスガ命令雖令ナドノ令
 ナリ助字ニ用ユルニハツレガ内ヨリナシクルヲ此
 内ノモノニシテツレガ方カラスルヲニスハラスト云
 フコ、ロニ用ユ略シテ言ヘバソレニナラセ其事ヲサ
 セルト云キ三ナリ史記灌夫傳ニ案灌夫項令謝トイヘ
 ルハ灌夫ガイヤガルヲムリニ其項ヲオサエツケ平伏
 サセテ其ガ口カラ謝スル辞ヲ言ヘトシヒツケタルヲ

ナリ孫子傳ニ君第重射臣能令君勝ト云ルハ君ハ何カ
 ナシニ賭ヲ重クシテ射タマフヘシ臣ヨク君ニ勝ノ
 フルヤフニナラスベシト云フナリ令ハトカク其様子
 ヲバサヤフニナラセテ往クヲ云フカ又ハ左様ニナリ
 テクルヲニユクヲ云フニ用ユルト心得ベシ酷吏傳
 ニ王温舒曰嗟乎令冬月益展一月足吾事矣トイヘルハ
 冬ノ月ヲマシテ一月タケヲヒロカラスヲニナラセテ往
 キタラバト云フナリサア前ニ云ル如ク此令字ト使字
 トノ差別甚紛シク間違ト多キモノナリ精シク辨スベ
 シ史記晏子傳贊ニ假令晏子而在余雖為之執鞭所忻慕
 焉トイヘルハ晏子ニ長壽ノ命數アリテ今ノ世ニテニ
 モツレナリニ居ラルトニ其様子ヲナラセタラバト
 云フナリ魏其傳ニ及聞淮南王金事上曰使武安君在者
 換矣ト云ルハ天子ノ心ノ思ヒノ如クニナルヲ二十リ
 テ武安君ヲ今ニモ世ニ在ラシムルヲニスルヲガナラ
 フナラバ三族ノ刑ヲ以テ其罪ヲ正スヲニナラフニト

云々々へルナリ世説賢媛ニ王渾妻鍾氏生女令淑武子
為妹求簡美對而未得有兵家子有雋才欲以妹妻之乃白
母母曰誠是才者其地可遺然要令我見武子乃令兵兒與
群小雜處使母帷中察之トイヘルニハ令ト使トヲ書キ
ワケタリ此ハ王武子ガ妹ノ為ニ塔ヲエラムニ兵家ノ
子ノオアルモノアルヲ見テフレニ妻ハサント思ヒ母
ニ白シタルニ母ノ答ニ誠ニ是ハオアルモノトナラバ
家ガラノ処ハカマフハセ又モヨカラニサレヒツマ
リノトコロ我ガ其人ヲ見ルノ出來ルヤフニ取アツ
カヘト云タルニヨリテ武子其兵兒ヲ群小人ト雜處
スルヤフニナラセオキテ母ヲ帷中ヨリノツキテツ
レヲ索スルヤフニサセルトニシタルニト云トニテ令
ハ台フ内ニテフレガツレニナリユクヤフニツレヲカケテサ
レナリ使ハツレガスチニユクヤフニツレヲカケテサ
セルトナリ又賢媛ニ文勢ハ甚似ヨリタル事ヲ使ノ字
ハカリニテ書キタルトコロアリ謝公夫人憚諸婢使在

前作伎使太傅暫見便下憚トアリ此上ノ使人ノ字令字ニ
テ有ルベキ様ナル勢ナレ此ハ夫人ガ諸婢ヲ憚中ニ
置キ己ガ前ニアリテ歌舞ノ伎ヲナストヲサセテ居タ
リシガ謝太傅ニチヨトフレヲ見ルトニサセテハヤ其
憚ヲオロシテ見セ又トニシタリト云トニテ並ニ其ニ
フレテタマク左様ニシユキタルトニナル故ニ上下共
ニ使ノ字ナリ若シ上ノ方ヲ令ノ字ニスレハ最初ヨリ
其長ク觀セ又トヲセントバカリテ諸婢ニ云ヒ付ケ伎
ヲナストヲアチラニサセオキテサテソレヲハ見セ又
トニシタリト云トニナリテ意地ノワロキ仕方ヲシタ
ルトニ聞ユルトニナルベキナリ賢媛補ニ宋明帝ノ明
恭后扇ヲ以面ヲ障ギリテ衆婦人ノ羸体ニナリ居ルヲ
見ズシテ其視ザル旨ヲ陳ラレシテ帝怒遣后令起トア
ルハ后ヲアチラヘ出シヤラントシテ坐ヲ起チタヘ
ルヤフニトアリシヲ云ルナリ文學ニ桓宣武北征セシ
ニ袁虎時ニ供ヲセシガ責ヲ被ルトアリテ官ヲ免シ居

俾

リタルニ露布ノ文ノ入用ノアルニヨリ云喚哀倚馬
 前令作ト云ルハ直ニ己ガ馬ノ前ニ身ヲモタレ立セテ
 サテ露布ノ文ヲ作レヨト云付ケタルトナリコレモ文
 ハ袁虎ガ心ノ中ヨリ作り出サ子バナラヌト故ニソレ
 ヲ云付クルニハ令ノ字ナリ此下ニ右ノ文成就シテ王
 東亭其才ヲ歎美セシニ袁虎云當令齒舌間得利トイヘ
 ルハ此文ノ書キカタニテ其通ヲノブル人ノ舌齒ノ間
 ニ滞リナクスラクト言ヒノブルトニナラセラルト
 ニユクベシト云ルナリ
 此字詩書ニ多ク見ユ後世ノ散文ニハ偶用ユルトアレ
 氏至テ希ナリ全体ノ字意物ノ其内ニイフニテモ左様
 ニナリユクヤフニシカケアリテユカスト云トナリ詩
 小雅天保定爾亦孔之固俾爾單厚何福不除トイヘル
 ハ天ヨリ其方ニ保シテ定メニスルニナリタラバソ
 レニモ甚ソレヲ固クスルトニナルベシ其方ヲマコト
 ニシテ厚クスルトニナラシユクトニナリタラバ何ト

云福ナリ氏フレニハ除キヤラヌト云トナカラニト云
 トナリ又彼醉不臧不醉反耻式勿從謂無俾大意トイヘ
 ルハ醉タルモノヨシトイハザルヲバ醉ザルハ反テ
 耻辱ナルトニ思フトナレバ醉タルモノ辞ニツキテ
 云ナストラセヌヲ定木トシテ大ニ怠ラストニナラシ
 ユクトノナキヤフニセヨト云トナリ又曰又上帝甚踏
 無自暱焉俾予靖之後予極焉トイヘルハ上帝ハ人ニス
 コシ一テモ上帝ノ足ヲウクベキニハ甚ヨク踏來リタ
 マヘ氏自カラ其亂レタルニハ暱ツクトナク我身ヨリ
 フレラ靖ムルモノニナラシユクトニシテ後ニ我ニ乘
 リウツリテ加護ヲ垂レタマフト心得ヨト云トナリ大
 雅ニ辟爾為德俾臧俾嘉トイヘルハ其方ガ德ニ於ケル
 ノサ一ヲ一事ニ譬ヲアゲテ言キカスハソノ德ニ臧ナ
 ルヤフニナラセユキ其德ヲ嘉スルヤフニナラセユ
 カサニト思フ故ナリト云トナリ後世ニテモ智囊補ニ
 用一小竿竅其中俾通氣以猪溺囊繫竿端トアリ此ハ細

遣

長キ竹ノ中ノフシヲ又キ氣ヲフケバトオラスヤフニ
ナラスルコトニシテ其サキニ楮ノ膀胱ヲハメテク、リ
タルコトナリ
此字手前ニモツアタリヲヤリテ向フノ内ニトマルヤ
フニシテ其内ノ方ヘハナレヤルノコトニシハリ合スト
云コ、ロニテ略シテ云ハアチラノ内ヘカケルニシヤ
ルト云フキミナリ史記李斯傳ニ陰遣謀士齎持金玉以
遊說諸侯トイヘル藺相如傳ニ遂遣相如秦璧西入秦ノ
如キノ類ノ遣ハ并ニ發遣ノ遣ニテ虚字ナレモ下文ニ
其サキニ往キテ為シムルノワサヲ添テ書ケル故ニ
此遣ノ字自カラ使ノ字ノ如キ意ヲ帶ル勢アルコトナ
リテ讀デシムル云ヒ使ノ字ノ如キモノトナレリサレ
氏此遣字ニハ今コ、ヲノキテアチラノノキタル内ヘ
カ、ラシヤルト云コ、ロガオモトナリテ用ユルト心
得ベシ世說寵禮ニ須臾真長遣傳教覓張孝廉トイヘル
モ劉真長ガ処ヨリ傳ヲコチラヘオコシタルコトニテ其

教

下文ニイヘル所ハコチラニテスルワザヲモタシテ添
タル処ハヤハリ史記ナド、同ジコトナリ杜甫詩ニ莫遣
泌場匹馬還トイヘルモワレニシテヤリテシマフナト
云フキミナリ
師ヨリ學ブ人ヲ其相應ニモツテ越スコトヲウケサセテ
其フミシメヲ此方ノ内ニシモタスコトニシ來ルヲ教ト
云畧シテイヘバ其物ヲバコレヲスルコトニナラセルト
イフコトナリ漢ノ頃ニモ此教字ヲ使ノ字ノ如クニ用タ
リト見ユル処間有レモヤハリオシユト云義ニテ用タ
ルナリ李斯傳ニ趙高教其女塔咸陽令閻樂劾ノ類是也
後世詩家并ニ俗語ニ多ク此字ヲ使ノ字ノ如クニ用ユ
唐詩ニ不教胡馬度陰山ハ胡馬ヲバ陰山ヲ度ルコトス
ルコトニナラセマシキニト云コトナリ莫教長袖倚闌干ハ
長袖ノ女ヲ闌干ニ倚ルコトスルコトニナラセルナト云
コトナリ牡丹ノ詩ニ若教解語應傾國ハ若シ牡丹ヲ語ヲ
解スルコトスルコトニナラセタラバ國ヲ傾ルコトニナル

頗

デアラフナリ。
 物ニ入りコムコガ十分ノ内ニテ、其トマリマデハ行キ
 ツカヌヤフスニシ云フニ、頗ト云ナリ、史記酷吏傳ニ、數
 歳乃頗得其渠率、トイヘルハ渠率ハ盜賊ノ頭分ノ者ヲ、
 餘ホド捕ヘ得テ誅シタリト云コナリ、儒林傳ニ、頗能言
 尚書事、ト云ルモ、十分ノ内ニ八九分ハソレヲヨク言フ
 ト云コナリ、六國表ニ、然戰國之權變、亦有可頗采者、何必
 上古トイヘル、此亦有可頗采ハ、亦頗有可采者ト書ケル
 トハ、其旨同ジカラズ、亦頗有ハ、權變之十アル中ニ七八
 分ハ采ラル、トモアリト云コナリ、權變ヲ集テ又
 意ニマワル故ニ、通ゼヌトナル、可頗采ハ、其權變ノ中
 ニモ、其一事ノ内ニ、其仕カタガ七八分ハ尤ニテ、采ラル
 ルコトモナリサフナコナリト云コナリ。
 此方ヘモツテコスコラ、彼内ツラナルコトニスルニハ、外
 ニナリ出テクルコトニシテ、フレヲツケテスワルコトニス
 ルト云コトニテ、略シテイヘハ、深クコミ入ルコト云コトナ

聊

少、先ツ當分ノ事ニシテ、フレヲ付ケテシテ居ルキミナ
 ルヲ聊ト云、詩鄭風ニ、出其東門、有女如雲、雖則如雲、匪我
 思存、縞衣綦巾、聊樂我員、ト云ルハ、其雲ノ如キ女ノ中ニ
 我思ヘル女ノアルコト云ニアラサレバ、コトニ縞衣綦巾
 セル女アレバ、コトミ入ルトナク、先ツ當分ノコトニシテフ
 レヲ付ケ置テ、我之ヲ樂ムコトニスベシトイユト云コトナ
 リ、繪風ニ、庶見素衣兮、我心傷悲兮、聊與子同歸兮、ト云ル
 モ、大カタ其人ノ死ヲ見ルコトニナラフト思ハ、我心ニ
 ハフレラシテハ、傷悲スルコトナリト思フ、臣コトミ入ルト
 ナク、先ツ當分ノコトニシテ、向フノ物スキノ通りニナシ
 テユカント思フベシト云コナリ、史記南越傳ニ、老臣妾
 竊帝號、聊以自娛、ト云ルモ、先當分ノコトニコレヲ付ケテ
 自カラ心ヲナクサムコトニシタルナリト云ルナリ、張釋
 之傳ニ、吾故聊辱廷尉、使跪結轆、欲以重之、モ當分ノ事ニ
 其事ヲツケルニシテ、廷尉ヲ辱シテ、轆ヲ結ハシメタル
 ハ、フレヲ重シジサセニトノ意ニテシタリト云コトナリ

况

此字全体虚字ニ用ユルニ、李陵書ニ、與子別後益復無聊
 トイヘルハ、無聊頼ト云ルト同ジコ、口モチニテ、心氣
 其所ヲ得ガルコトニナリテ、何事ニテモ、ツレガ手ニツカ
 ス、心ガワツクヲ云フ、ヤハリ同ジコ、口モチナリ
 益也ト注セリ、向フノ内ノ方アルニ、此方ニノキテモチ
 タルヲ以テ往キテ、其ノキタルノ承ノナリニモツタル
 ラ、此内ニキテ取ルヤフスヲ内ニモチテ、カ、リニス
 ルコトナリ、此ヲ虚字ニ用ユルニ、既ト通ズ、益シタマフコ
 コトニ用ユ、又客ノ吾ニ來ルヲ謝スルニハ、稱シテ臨況
 ナド云、又旅况客况情况ナド云ハ、ノレニ出合タルトコ
 コラ、心ノ内ニモツタルコト、口モチト云フナリ、助字ニ
 用ユルトキハ、向フニシテコレニモツタルヲ、又コレニ
 シテツレヲモツト云フナリ、易乾文言傳ニ、天且不違况
 於人乎况於鬼神乎ト云ルモ、天ニシテ不違ト云フニシ
 テ持タルヲ、又人ニ於ケルニシテツレヲモツト云フヤ、鬼神
 ニ於ケルニシテツレヲモツト云フナリ、周語ニ、王且

矧

不堪况爾小醜ト云ルモ、同ジキ三ナリ、史記秦本紀ニ、且
 先王崩尚猶遺德、無法况奪之善人良臣、百姓所哀者乎ト
 云ルハ、先王ハ崩スルニナリテモ、尚猶德ヲ遺ル法ヲ無
 レ給ヘルニ、又善人良臣ノ百姓ノ哀ム所ヲ奪フニシ
 テ、ツレヲモツト云フナリ、唐詩ニ、鴻雁不堪愁裏聽
 雲山况是客中過ト云ルモ、鴻雁ヲハ愁中ニ聽クニ、コト
 ヘラレヌトスルニ、雲山ヲツレヲ是ハ客中ニ過ルト云
 フニシテモツト云フヤト云フナリト、カクアチラニテカヤ
 フニモチタルヲ、又コチラニシテツレヲモツト云フヤト云
 フニテ、始ノ一段ニテモ、ハヤシレタルコトナルヲ、又此ニ
 モツト云フキニナリト思フヘシ
 音晒ニテ斷ト通シ、禮曲禮ニ、笑不至矧ノ注ニ、齒木曰矧
 大笑則見ト云下地デサエコフナルニ、ソレニ猶コシテ
 ト云コトナリ、詩大雅ニ、神之格思不可度思矧可射思ト
 云ルハ、神ノ來格ストオモフベシ、其イタルハトドレホド
 ニアルベキト云フヲ、ハカリ知ルベカラズトオモフベ

シ、ソレサエ左様ニアルナリナルニ、ソレニアテ、知ルベ
 ケニヤトオモフベシト云ナリ、小雅ニ、三爵不識、矧敢
 多又ト云ルハ、三杯ノ酒ニスラアトサキヲオボエサル
 ニ、ソレサエ左様ニアルナリナルニ、ソレニ敢テ多ク又飲
 ニトスベケニヤト云ナリ、又云、相彼鳥矣、猶求友聲、矧
 伊人、矧不我友生、トイヘルハ、彼鳥ヲ其格合ヲ見ルニモ、
 ヤハリ友ヲ求ムル聲ナラニトスルナリ、ソレニ、ソレサエ
 アルニ、ソレニカレニ人ナルヲ友生ヲ求メジト言ルベ
 シヤト云ナリ、サレハ、況ハ、タトヘバ物ノ其事ニ於ケ
 ル伎倆ヲ盡シ言フテ、サテ其物ヨリスグレタルカ、又ハ
 オトリタルノシレタル物ノ伎倆ヲハ、ソレニ掛ケ合
 ストニシテ言フニ用ユル字ニテ、物ノ實際ノ処ヲ以テ
 語ルニ用ユル字ナリ、矧ハ、人ノ其物ノワサヲ其事ニス
 ラカヤフト思ヒ取ルナリ、矧ハ、人ノ其物ノワサヲ其事ニス
 ニ取ラルベシヤト云フニハ、矧ノ字ナリト心得ヘシ、是
 況矧二字ノ別ナリ。

因

此因依ノコ、ロニテ、虚字ニ用ユルハ、物ノ因依ナリ、此
 方ノ内ニスルニ所ニスルヲ、ソレヘユクニ、ハツレテ
 其ヘ内ヲモツニシカ、ルト云キ、三ニテ、タトヘバ、人
 ノ方ヘ別段ニ使ヲヤリテ、物ヲオクルベキヲ、外ヨリ其
 所ヘユク人アルニ、其人ヘ托シテオクルニ、スルノ類
 ヲ、因ト云、助、辞ニテモ、右ノコ、ロニ用ユ、其事ニコレヲ
 ツテニシテカ、ルト云コ、ロナリ、史記、樗里疾傳ニ、遺
 之、廣車、因、隨、之以、兵、トイヘルハ、智伯ガ仇、猶ヲ伐シトモ、
 其路ヲヒロケ、平ニサセニトテ、廣車ヲオクリテ、ソレヲ
 ツテニシテカ、ルリテ、ソレニシタカ、フニ兵ヲ以テシテ、
 ハリコマセタリト云ナリ、又、穰侯、卒於陶、因、葬焉、ト云
 ルモ、陶ニ卒セシニツケテ、其地ニ葬ツタト云ナリ、韓
 信、遂、平、齊、乞、自、立、為、齊、假、王、漢、因、而立之、ト云ルモ、スグニ
 ソレニツケテ、ソレヲ立テタリト云ナリ、莊子、齊物論
 ニ、因、是、因、非、ト云フハ、聖人、知、世、人、ノ、下、統、ニ、是、ト、ス、ル、所
 ニツケテ、ユキ、非、ト、ス、ル、所、ニツケテ、ユキ、天、人、ノ、其、治、ヲ

ウクルヤフニナシユクト云ナリ詩大雅ニ以先祖受命因時百蠻トイヘルハ韓侯ノ先祖ノ命ヲ受タルハコノ百蠻アルニツキテノ事ナルヲ以テセリト云コ、ロナリ又奄受北國因以其伯ト云ルモ奄ニ北國ヲ受テテツレニツケテユキテ其ヲ以テ伯タルベシトイヘルナリ

由

此字猶ノ字ト同音ニテ其意味同シナリ彼ニモツテ越シ往テ我志ズ所ニスルニ其ヘユクニハツルハラ内ヲ其内ニモツテスハルニスルト云ナリ略シテ言ヘバソレヘカ、ル小口ノ処ニ又ルト云ナリ詩王風ニ君子陽々左執篲右招我由房其樂只且トイヘルハ君子ノ顔色ノ陽々タルガ左ニ篲ヲトリ右ニハ我ヲ招キテ只今房ノ所ヨリ小口ニシテ室中ヘス、ムナリト思ハハ心ニ樂ムハカリニナルベシト云ナリ小雅ニ匪由勿語由醉之言俾出童叟トハ其カ、リユク筋六ナレ別スナリ語ルナカレ其醉タル人ノ言フ終ヲフエニシテ

因

其スチテ逐テ言ハトスナリ論語ニ視其所以觀其所由ト云タヘヘルモヤハリフエニシ其スチテ逐テ入りユクトコロヲツク觀ルナリ史記項羽傳ニ分裂天下而封王侯政由羽出トイヘルハ項羽イマダ帝タルニ非ナルニ天下ノ土地ヲ自由ニ切りモリシテ王侯ヲ封スルハ項羽ヘ言コエテ項羽カラ命ヲ出スナリ其專ガナルトニナルヲイヘルナリ游俠傳ニ由是揚氏與郭氏為仇ト云ルモ趙世家ニ由是為趙氏ト云ヒ大宛傳ニ外國由此信之トイヘルモ並ニ此事ガモトニナリテツレカラサキヘナリユキテト云コ、ロナリ孟子ニ夷子曰愛無差等施由親始トイヘルハ愛スルハイツレヘモ同シナレ施スナリ親ノ処ヘカ、リテアレカラハジムルト云ナリ子貢曰見其禮而知其政聞其樂而知其德由百世之後等百世之上莫之能違也自生民以來未有夫子也トイヘルハ其制作ノ禮樂ニテ其政徳ヲ知ルハ百世ノ後ニカ、リテ推シテ百世ノ上ノ世

自

ニクラベ合セテ高下ノ等ヲ立ルニモフレヲニダル
 ハナラヌモノナルガ生民アツテヨリ以來ニ孔子ホド
 ノ聖徳ハ有リシトナシト云フニテ由ノ字ノ義トカク
 身ヲ以テカ、ルトテ其処ヨリシテユクト云フ、口ニ
 用ユルトナリ史記伯夷傳ニ由此觀之怨邪非邪トイヘ
 ルハ伯夷ハ怨是以希ナリト孔子ハ謂タ一匹逸詩ノ
 文句ノ如此ニモチカ、リテフレヲ觀シ想ヒ見ヨ怨々
 リト云ナルカ怨々リト云ハ非ト云ナルカト云コ、口
 ナリ此外文章家多ク由是觀之ト書ケルモアリ此ト是
 ノアテ言フトコロノ相違ニテニテ由ト觀之ノ意ハ同
 ジトナリ史記張耳傳ニ固欲反趙未決因此怨遺又追殺
 王姪道中トイヘルハ此事ニフケテユクフニナツテ怒
 リテ王姪ヲ追カケケシテ殺シタト云フナリ由ノ字ト
 差別ヲ此ニテ味ヒ知ルヘシ
 此古文自如此ニ書クフニテハ鼻ビハ口ナリ氣息口
 鼻ヨリ出クルトナリ故ニ物ノアチヲヨリ出來ル小口

ト云ノ象ヲ借りテ喻シタルナリサレバ自ハ物ノアチ
 ラヨリノ出小口ト云フニ用ユルカ自從ノ自ナリアチ
 ラナリニテ來ルト云フニナレバ自然ノ自ナリ其ワ
 サノ出來ル方ヘアテ、指スニナレバ自己ノ自ナリ禮
 曲禮ニ其塵不及長者以箕自鄉而扱之トイヘルハ自己
 ノ自ナリ莊子逍遙遊ニ吾自視缺然請致天下ト云ルモ
 自己ノ自ナリ自然ノ自ハ漢ヨリ己後ノ文ニ多ク見ユ
 世説言語ニ袁玄伯為謝安南司馬都下諸人送至瀨鄉將
 別既自悵惘歎曰江山遼落居然有萬里之勢トイヘルハ
 自然ナリニナリ賞譽ニ謝公道豫章若遇七賢必自把臂
 入林ト云ル並ニ自然ノ自ナリ此自字詩家ニ此勢ヲ用
 タルモノ間多シ張九齡感遇詩ニ飛沉理自隔何所慰吾
 誠トイヘルハ空ヘ飛フ鳥ト淵ニ沉ム魚トハ其理ガ其
 自然ノモチニエニテ隔ルトナリト云ルナリ王勃ヲ檻
 外長江空自流トイヘルモ人間ノ存亡ニカ、ワラズシ
 テ長江ノ水ハアルニカヒナク彼ガ自然ナリニテ流レ

ユクニテ帝子ノナクナリタルヲ傷ムコ、口モナシト云キ三ナリ。劉禹錫ガ銜泥、燕子爭歸舍、獨自狂夫不憶家トイヘルハ、燕子ハ其家々へ歸リ來ルニ、タゞニトリ彼ガモチマエニナリアリテ、狂夫ハ家ヲ憶出スナクテ、歸リ來ラズト云フナリ。サテ自從ノ自ハ、出小口ト云フニテ、詩小雅ニ、自昔何為トイヘルハ、昔カラシテ人ハ何ヲカ為シタルブト云ハ、ト云フナリ。大雅一心之憂、突寧能今矣、不自我先、不自我後トイヘルハ、心ヲバ憂ヲモタスヤフニトスフハ、後日ニ今ノ処ヲ指シテ、其小口トストセシト云カタニ片ツケテ思ワシトセヨ、我ヨリ先キカラト云フニモユカス、我ヨリ後ニト云フニモユクニジト云フナリ。殷頌ニ、自古在昔、先民有作ト云ルハ、古ノ世カラシテ、昔ノ時ニテモ、先民ニ作スナリトシ思ヒタリト云フナリ。禮大學ニ、自天子至于庶人ト云ルハ、天子ヲ出小口ニシテ、士庶人ニ至ルニテト云フナリ。サレバ此自字ト由字ノ別ハ、物ノ中ホドヨリ其出小口

ヲ指セバ自ナリ、身ヲ以テカ、又ハ心ヲ以テ、其処カラカカリ入テユク意ニシテ言ヘバ、由ノ字ナリト知ルベシ。又自ノ字ニ全体ハ同ジナレ、凡ハ振合ノ異ナル使ヒカタアリ。詩唐風ニ、羔裘豹袂、自我人居、於トイヘルハ、羔裘ハアシキ裘ナレ、凡ハ豹皮ヲ用テ袂トスレバ、此方ツレノモノカラシテ、ツレヲ居々トシテ美事ナリト云ベシト思フベシト云フナリ。小雅ニ、我出我車、于彼牧矣、自天子所謂、我來矣トイヘルハ、此方ガ此方ノ車ヲ彼牧ニ出シカザルニナリタラバ、天子ノ所カラシテモ、此方ヲ來ルデアラフト思ヒ給ハヌト云フナリ。史記孝文紀ニ、二者之咎、皆自於朕之德薄、而不能遠、達也ト書ケルハ、於字ノ上ニ自字アリテ、珍シキ法ナレ、凡ハハリ朕之德ノ云云タル方へ出小口トシテ思ヘト云フナリ。中庸ニ、知風之所自、トイヘルモ、風ハコ、ガ出小口ナリト云フヲ知ルト云フナリ。サテ又此自字ノ置キヤフニ差別アルナリ。詩邶風ニ、日居月諸、出自東方トイヘルハ、出

從

ツルハハ其出小口ハ東方ナリト云ハナリ東方自出ト
 イヘルハ東方ヲ見テ居レバ出小口ニシテ出ルト云ハ
 ナリ
 此本隨從ノ從ニテコチラノ内ニ彼ヲツカシ來レニス
 ルヲ外ヘワカレツクナク内ニツクモノニスルト
 云キニテタトヘバ犬ヲバ甲トシガ東西ヘワカレテ
 呼ブニ其犬ガ甲ノ方ニハツキユカズシテシノ方ニツ
 キユクト云様ナルニ並ニ從ノ字ヲ用ユルナルガ自
 從ノ從ニテモヤハリ同ジ氣味ニテタトヘバ表口裏口
 トノ一口アルニ裏口ヘハカ、ラズシテ表コヨリ行ク
 ト云フ氣味ナル処ニ用ユルナリ史記晏子傳ニ晏子
 為齊相出其御之妻從門間窺之トイヘルハ御者ノ妻ナ
 ル故ニ晏子ヲ憚カリ門外ニ出ズシテ門ノ隙ヨリノブ
 キ見タルヲ言フト云從ノ字ヲ書タルモノナリ平
 原君傳ニ故從母言之是為賢母從妻言之必不免為妬妻
 ト云ルモ妻ノ方カラ言ハズニ母カラ言ヒ母ノ方カラ

繇

言ハズニ妻ノ方カラ言フニスレバト言フ氣味ヲ以テ
 見ルベシ項羽本紀ニ步走從鄱山下道芷陽間行トイヘ
 ルモ本道ヨリ行カザリシヲ心ニモタセ聞カサント
 シテ從芷陽トイヘルナリ杜甫カ詩ニ菊花從此不須開
 ト云ルハ菊花モ後日トナク今ノ処カラシテ開クハ
 入用トセザレト思ヘト云キニナル王昌齡カ一從恩謹
 去瀟湘杜甫カ露從今夜白ナト平字ナルニヨリテ月夕
 ルバカリニテナクヤハリ外ヘカ、ラズ此処ニカ、ツ
 テカラ今夜ノ処カラナリトカク其モチコニヲ此処ニ
 カ、ルニシテト云フ意ナリト心得テ用ユベシ
 此本繇役ナドノ繇ニテ音遙ナレト古書性々由ト通ジ
 テ音由トス康熙字典ニ易坤卦ヲ引テ其所繇來者漸矣
 トアリ今ノ通行ノ本ニハ並ニ由ニ作レリ是由ト同シ
 ナル證ナリ前漢文帝紀ニ列侯亦無繇教訓其民トイ
 ヘルモ由ノ字ノ代リニ書タルト見サレト同音ノ字
 ニテモ字形異ナレバ少シ其フリハ相違アリ繇ニ作ル

豈

トキハヤハリ引カケニナリテカ、ルヲ云フ旨ヲ含
 ミタリト知ルベシ。此餘ハ史記助字法ニ多ク録ヲ用タ
 ルノ例ヲノセ置タリ見合スベシ
 此ハ向フノ聞入ノ心ニ、其処ノヤフスヲ見クラベテ、所
 存ヲ付ケテ言フニ、動カヌ処ヲ立テ、言フニ用テ、詩衛
 風ニ、自伯之東、首如飛蓬、豈無膏沐、誰適為容、トイヘルハ
 此首如飛蓬ノケシキヲ見スレニ、所存ヲ付ケテ言フ
 ベキトコロガ、膏沐無キ故ナリト云語ヲ着クルガ、動カ
 ヌトコロトイワルベシヤ、誰ヲ目アテトシテ、ソレガタ
 メニ容ヅクリスベキヤト思フ故ナリト云フナリ、鄭風
 ニ、將仲子兮、無踰我里、無折我樹杞、豈敢愛之、畏我父母、ト
 イヘルハ、此ハ墻ノ外面ヨリ、誰トモ知ラス、己ヲノブキ
 見ントスルモノアルニ、言カケテ言フ辞ニシテ作リタ
 ルモノニテ、窺ハントスルハ、將仲子ニテモアラフナラ
 バ、我里ヲ齋フナカレ、我方ニ樹へアル杞ノ枝ヲ折ル
 下無カレ、カヤフニ言フヲ見テ、ソレニ所存ヲ付ケテ言

フベキ処ガ、敢テソレヲオシムト云フ語ヲ着ルガ、動カ
 ヌ処トハセヌトテ、我父母ヲ畏レテカクハ言フナリト
 云フナリ、叔于田、巷無居人、豈無居人、不如叔也、洵美且仁、
 トイヘルハ、叔ガ于ニテ田獵ニ出ルヲ見テハ、巷ニハ居
 ル人ハ無クナリタリト云フベキガ、カヤフナルヲ見テ
 所存ヲ付ケテ言フベキトコロガ、居人無シト云フ語ヲ
 着ルガ、動カヌ処トハセヌトテ、餘ノ人ハ叔ガ洵ニ美
 ニシテ且仁ナルニ、如カザルト云フナラント云フナリ、
 論語ニ、吾豈匏瓜也哉、焉能繫而不食、ト云給ヘルハ、此方
 ノカヤフニアルヲ見テ、ソレニ所存ヲ付ケテ言フベキ所
 ガ、匏瓜ナリト云フ語ヲ着ルガ、動カヌ処ト云フナラニヤ
 ト云フナリ、孟子公孫丑篇ニ、予雖然、豈舍王哉、王由足用
 為善、トイヘルモ、予カヤフナル処ノ所存ヲ付ケテ言フ
 ノウコガ又処ハ、王ヲ舍テ、カマワヌト云フナラニヤト
 イヘルナリ、晉語ニ、梁由靡曰、不可我能行之、秦豈不能ト
 云ルハ、慶鄭ヲユルシテ賊ヲ行シ、秦ノ穆公ヲ刺ムルト

ヲ能スレバ、秦ヲフレニ所存ヲ付ケテ言フトコロガ賊
 ヲ行ハスヲ能ワジト云語ヲ着ルガ、勳カ又処ナラニヤ
 ト云フナリ、史記游俠傳ニ、此豈非人之所謂賢豪間者邪
 トイヘルモ、賢豪間ノ者ニ非スト云フガ、勳カ又処ナル
 ヤト云フナリサテ、此豈ノ字ヲバ、初學者多クハ何方ニ
 テモ、反語ニナルトキニ使フ文字ノ如クニ思ヘルハ、大
 ナル僻事ナリ、史記曹相國世家ニ、惠帝恠相國不治事、以
 為豈少朕與、トイヘルハ、反語トイフ氣味ノ一向ニ付カ
 又処ナリ、サレバヤハリカレニ所存ヲ付ケテ言フトコ
 ロ、朕ヲ少シトシ、何モ知ルマジト云語ヲ着ルガ、勳カ又
 処トセルナルカト云フナリ、范曄傳ニ、今吾事之去留、在
 張君、孺子豈有容習於相公者哉、トイヘルハ、此処ニテノ
 所存ノウゴカ又処ヲ付ケニトスル処ニテ、客ノ相公ニ
 習ヘルモノアルカヒ、ソレニタノムヨリ外ナシト云コ
 コロナリ、唐魏徵述懷詩ニ、豈不憚艱險、深懷國士恩、トイ
 ヘルモ、艱險ヲ憚ラヌト云フ語ヲ着ルガ、勳カ又処ト云

寧

ナラニヤト云フナリ。
 本安寧ノ寧ニテ、人ノ心ノ内ニ其ヲツカシ体スルトニ
 其カ來ルトノ外ニ出テ來ルトス、其ヲツカシスワラス
 トライフ字ニテ、易繫辭傳ニ、首出庶物、萬國咸寧、ト云ル
 聖人周易六十四卦ノ象爻ノ辭ニ、天ノ宜ニアタル
 諸德物ヲ首トシテ出シ給ヒタルバ、萬國ノ民コレニ法
 リ行ヒテ、咸クニ其落付クベキ処ヲ得ベシト云フナリ
 詩周南ニ、害澣害否、歸寧、父母、トイヘル歸寧ハ、其女他
 嫁シテ、三日アリテ、父母ノ家ヘ一先ヅ歸ルヲ歸寧ト云
 邦俗ニ稱スル里返リト云モ、是ナリ、其父母ノ心ニ、女
 ノ嫁シ往キタルタヨリ、其彼ニ在リテノ様子、如何ト案
 ジ居ル処ヘ、其女ガ歸リテ顔ヲ見スレバ、父母ノ心、其ニ
 ヨリテ先ヅ落付ク故ニ、父母ヲ歸リテオチツカス意ヲ
 以テ、歸寧ト稱ス、此外ノ義尚虚字詳辭ニ詳ニスベシ、サ
 テ助字ニ用ユルニモ、ヤハリ同シ心モチニテ、虚字ニ比
 スレバ、其旨更ニ輕虚ニシテ用ユルコ、ロナリ、易繫辭

傳ニ介于石不終日貞吉介如石焉寧用終日斷可識矣ト
 云ルハ物ノタメニ夾介セラレテ石ニツメラタル様
 ニナルベシト知ラバセメテ一日ヲ終ル間ハコラエ
 ト云フ思ヲ用ユルコトガサヤフニアル方ノ処ニ其實ヲ
 オサエタル処ガナリユクデアラフヤ決斷シテ其処ヲ
 立去ルヲ識ルベシト云フナリ詩小雅ニ盡瘁以仕寧莫
 我有トイヘルハ盡瘁シテ以テ仕フルニセバ君ヨリ見
 ル所ニスルニ我ヲ善性アルコトナカラント云方ノ処ニ
 其實ヲオサエタル処ガナリユクデアラフヤト云フナ
 リ小雅四月ニ先祖貶人胡寧忍予トイヘルモ大雅雲漢
 ニ父母先祖胡寧忍予ト云ルモ並ニ同意ト云フニ先
 祖ヲバ人ニ匪ストスルコトナケレバ是ハ子孫タル予バ
 カリニハナニギヲシテモゾレバ先祖ノ心ニハ忍ビ
 テカマワヌト云方ノ処ニ其實ヲオサエタル処ガナリ
 ヲクデアラフトハナニゾ云ハレヤウゾト云フナリ心
 之憂矣寧自今矣トイヘルノ解ハ已ニ前ノ自字ノ條下

ニ出セリ併ヒ考ベシイヅレニモ寧字ニハ物ノ性キツ
 クベキ処ノ兩方ノスチアルラバアチラニハスルコトデ
 アルベシコチラノ方ノ処ニ其實ヲオサエタル処ガナ
 リユクデアラフト云フコトナリ字ナリ故ニ論語ニ
 モ禮與其奢也寧儉ナドモ見ユ左傳隱十一年ニ天其
 以禮悔禍于許無寧茲許公復奉其社稷トイヘル注ニ無
 寧寧也トセルハ大ナル疎謬ノ解ニテ天ニハ其レニ禮
 アルヲ以テ禍ヲ許ニ降セルコトヲ悔ルニナリタラバ茲
 処ニハ許公ガ復其社稷ヲ奉スルコト方ニナルデアラ
 フト云フニナルコトナリカナルモヒカト云フナリ論語ニ予
 與其死於臣之手也無寧死於二三子之手乎トアルモ同
 ジキニテ二三子ノ手ニカ、リ介抱セラレテ死スル
 方ニセフト云フコトガサカルモヒカト云フコト古文多ク此
 寧字ヲ與字トハリ合セテ書ケルモノ多キモフレトコ
 レトクテベテハコチラノ方ノ処ニ其實ヲオサエタル
 処ガナリユクデアラフト云フナリ史記陸賈傳ニ居馬

上得之寧可以馬上治之乎。子曰。酷吏傳。天下所少。寧賈姬等乎。子曰。一也。魏其傳。且帝寧能為石人邪。子曰。一也。並。二也。持子居。曰。左。其方。二也。其實。加。ナリ。ユク。ナカ。ト。推。シ。言。ヘ。ル。ナリ。能。為。石。人。邪。ト。ハ。人。ガ。何。ト。言。フ。テ。モ。耳。ニ。入。ラ。ズ。シ。テ。フ。レ。ニ。乘。リ。ユク。ナキ。石。人。ノ。如。ク。ナ。ル。ト。ラ。ス。ル。方。ノ。処。ニ。ナ。リ。ユカ。ル。テ。ア。ラ。フ。ト。ス。ル。カ。ト。云。フ。ナ。リ。蔡。澤。傳。二。應。侯。因。讓。之。曰。子。常。宣。言。欲。代。我。相。秦。寧。有。之。乎。ト。イ。ヘ。ル。ハ。子。常。ニ。カ。ヤ。フ。ノ。ト。宣。言。セ。シ。ト。聞。タル。友。實。ヲ。オ。サ。エ。タル。処。ガ。左。様。ノ。処。ノ。方。ニ。ナ。リ。ユク。ト。云。フ。ト。ナ。ル。カ。ト。云。コ。ロ。モ。ナ。リ。晋。ヨ。リ。已。後。ノ。文。ニ。モ。間。見。ユ。レ。凡。多。ハ。古。言。ノ。ア。ル。カ。タ。ニ。ナ。ラ。ビ。テ。其。子。ヲ。シ。テ。用。タル。モ。ノ。ニ。テ。其。代。ノ。人。ノ。通。用。ニ。用。ユ。ル。言。辞。ニ。ハ。ア。ラ。サ。レ。バ。用。タル。処。モ。皆。其。意。浮。淺。ナ。リ。ト。知。ル。ベ。シ。

無乃

此ハ寧ノ字トハ。皆大ニ異ニシテ。其事ノナリユク。先。ノ。カ。彼。心。ア。タ。リ。ノ。コ。ウ。云。フ。ニ。ナ。リ。ユク。ナカ。ラ。シ。ヤ。ト。云。フ。ニ。用。ユ。ル。ナ。リ。左。傳。僖。三。十。二。年。師。勞。力。竭。遠。主。備。之。無。乃。不。可。乎。ト。イ。ヘ。ル。モ。此。方。ハ。師。勞。力。竭。ニ。テ。遠。方。ノ。主。タル。ハ。コ。レ。ニ。備。タ。リ。ト。云。フ。ナ。ラ。ハ。カ。ノ。不。可。ナ。リ。ト。云。フ。ニ。ナ。ル。ナ。カ。ラ。シ。ヤ。ナ。リ。襄。十。八。年。今。子。草。舍。無。乃。不。可。乎。並。ニ。同。ジ。コ。ロ。モ。子。ナ。リ。史。記。封。禪。書。ニ。ハ。又。母。乃。不。可。乎。ト。ア。リ。此。ハ。不。可。ナ。リ。ト。云。フ。ニ。ナ。リ。テ。ユ。ク。ナ。カ。ラ。シ。ヤ。ト。云。コ。ロ。モ。子。ナ。リ。此。ハ。彼。ガ。モ。ツ。ナ。リ。此。方。ニ。ツ。ケ。ル。ニ。ス。ル。ニ。フ。レ。ガ。フ。フ。ナ。リ。其。ヘ。ユ。ク。ニ。ハ。ツ。レ。ル。ト。ラ。此。内。ニ。シ。ト。マ。ル。ニ。シ。ス。ユ。ル。ト。云。フ。ニ。テ。其。畢。竟。ノ。コ。ロ。モ。子。ナ。リ。其。人。ノ。知。ラ。ヌ。ト。コ。ロ。ノ。モ。ノ。ヲ。シ。リ。タ。ク。思。ヘ。ル。ヲ。コ。ナ。タ。ナル。別。物。ノ。内。ニ。其。ホ。ド。カ。ツ。コ。フ。ヲ。モ。チ。タル。ニ。シ。テ。ス。ワ。ラ。セ。云。フ。キ。三。十。ナ。リ。ガ。テ。此。如。字。ヲ。然。ノ。字。ノ。如。ク。ニ。用。タル。ト。ア。ル。易。ノ。屯。卦。ニ。屯。如。遭。如。ト。イ。ヘ。ル。ハ。屯。タ。リ。ト。名。ヅ。ケ。テ。云。

如

之。其行キザマノヤフスニモ夫。遭タリト名ヅケテ云ス
 其行キザマノヤフスニモワト云コ、ロモチナリ。離卦
 ノ突如其來如ナド。並ニ同ジ。又此如字ヲバ。ユクト讀処
 ニ用ユル。アリ。此ハ虚字詳解。部ニ出ス。故ニ今贅セ
 ズ。如シト云トキハ。タトヘハ虎ノ形ハ。猫ノ如クニシテ
 大アリト云ノ類ナリ。更ニ細ニ其ヲワカチテ喻サバ。タ
 トヘバ花ノ影ヲ鏡ニウツシタルヲ言フニ。鏡中ニウツ
 レル処ノモノ。色合。形状トモニ。其真花ノトオリヌ寸分
 モ違フコトナクテウツシタル。即チ亦如ト云モノナリ。
 人目中ニ物ヲ見ルトコロ。其物ハ向フニアルヲバ。寸分
 モチガフ。ナク。人目中ニウツル。即チ亦如ト云モノナ
 リ。詩衛風ニ。如切如磋如琢如磨ト云ルハ。切ハ象牙ナド
 之。其造ラントスル形タケニ切ル。ナリ。瑳ハ。其切目ヲ
 ヤスリニテ平ニスル。琢ハ。模様ヲ彫付クル。ナ
 リ。磨ハ。其仕立ノミガキヌスル。ナリ。斐タル君子ノ學
 者ヲ仕立ツルニ。其材ノ介際相應ニシテ教テ。段々ニフ

レヲ仕立ユクヲバ。右ノ細工ノ其次クニシテユク。トニ
 喩ヘテ。如トイヘルナリ。書帝典ニ。如南岳禮ナド云ルハ。
 比岳上ノ禮。トイリ。アツカヒノヤフス。又南岳ノ禮ヲホ
 ドニシテシタリト云。ナリ。儀禮冠禮ナドニ。云云亦如之
 ト云ルモ。其シカタラバ。前ニ言タル通りニスルト云。ト
 ナリ。汲黯傳ニ。至如說丞相弘。如發蒙振落。取ト云ルハ。文
 帝紀ニ。群臣如袁盎等稱說雖切。常假借用之。トイヘルハ。
 文勢相似タレ。其。實ハ大ニ相異ナリ。如袁盎等トハ。袁
 盎等ガ人カラノ程ナルニハト云。トナリ。至如說丞相弘
 トイヘルハ。丞相弘ニ說クグラヒノ。トイタリテハト
 云。トナリ。孔子世家ニハ。景公止孔子曰。奉子以季氏。吾不
 能也。トイヘル。ス。或ハ如季子ニ作アリ。此ハ季氏ホト
 ノアシラヒニスル。トハ。我ハ不能也。トイヘルハ。季子ヲ
 魯國ニテノアシラフ格ニスル。トハ。我ニハ能ワスト云
 トナリ。スベテ此如ノ字ハ。物ニテモ事ニテモ。其ツツホ
 ウ程ラヒノ処ニアテ。言フニハ。皆此如字ヲ用ユル。ト

若

ト知ルヘシ。此字其サキモ此カ、リニユクト云意モチニ用ユル字ナリ。書帝典ニ、若稽古帝堯トイヘルハ、古昔ノ傳ヘタル通リノカ、リニシテ其事ニ心ヲト、ノ考フルニト云ルナリ。又晴、咨、若、時、登、庸トイヘルハ、誰ニカ其人ハコノカ、リニナリユクト云フ又、問ヒシラベテ、其人ヲ登庸スベキト云フナリ。洪範ニ、暘若、雨若、ナド云ルモ、暘ノ照ルヲモ、其左様ニアルベキカ、リニユキ、雨ノフルヲモ、其左様ニアルベキカ、リニユクト云フナリ。物ノ數ノ何許ト云フヲ、若干ト云ハ、其物ノ實ノアルカ、リニシテ、コレダケトシテ稱シタルコ、ロモチナリ。易乾九三ニ、夕惕若ト云ルハ、世ニ惕ト稱シ云カ、リニナリユクヲ云、離卦ノ出涕沱若トイヘルモ、世ニ沱ト稱シ云カ、リニナリユクト云フナリ。サテ此ヲ助字ニ用ユルニ、フレヲ讀テコトシトスルニ、如ト若トノ別アリ。如ノ字ハ前ニ釋シタル通りニテ、物ノ形ノ大小厚薄等ノ類ノ如

キ、其物ガラノフツ法ヲ喻スニハ、如ノ字ナリ。若ハ物ノ様、子ノ人ノ心、目ニウツリテ見ユルニ付ケテ、思ヒクラベテ見ルトコロガ、フンジヤウ何ト云モノヲ見ル様、子ノ心モチナリト云ニ、此若ノ字ヲ用ユルヲナリ。曲禮ニ、儼若思トイヘルハ、其カラダノカマエハジメノナリヲバ、クヅレユカヌヤフニシテ居ルベシ。其儼ニアル様子ヌ、タトヘバ人ノ心ニ物事ノ條理ヲ立テ、フレニヨリテ、其筋ノワタヒヲ思ヒモトメテ往クモノ、自カラ其形儀ノクヅレヌ様、子ニ見ユル様ニアルベシト云フナリ。孟子滕文公ニ、夫夷子信以為人之親、其兄之子、為若親、其鄰之赤子、予、ト云ルハ、人ノ其兄ノ子ヲ親ムコ、ロモチヌ、其鄰家ノ赤子ヲ親シム様、子ノカ、リニユクト云フトスルカト云ルナリ。又夷子曰、儒者之道、古之人若保赤子、此言何謂也トイヘルモ、古ノ人ノ民ニ於ケルテ、ウド赤子ヲ保スル様ナルカ、リニ、其心モチガ往クト云ルハ、何ト云フヲ云タルヲグトイヘルナリ。老子ニ、明道若昧、

進道若退ト云ルモ道ニ明ナリト云ニナルハ昧ナル様
 ナルカ、リニユクト云ナリト云ニナルハ退クヤウナル
 カ、リニユクト云ナリト云ニナルハ退クヤウナル
 神人居焉肌膚若冰雪淖約若處子ト云ルハ其肌膚ニム
 カヘバ冰雪ヲ見ル心モチカスル淖約タルトコロハ處
 子ヲ見ル心持ガスルト云フキニナリ又今夫鰲牛其大
 若垂天之雲ト云ルモ鰲牛ハ其大ナル処ヲ見ル心持カ
 垂天之雲ヲ見ル心持ガスルト云キニナリ養生主ニ老
 聃死秦失弔之三蹄而出弟子曰非夫子之友邪曰然然則
 弔焉若此可乎トイヘルハ友ナリトアルナラハ弔ス
 ルニ今ノ此シカタノ様子ナルヲ外ニ用ヒテモ可ナ
 ルカト云ナリト云ナリト云ナリト云ナリト云ナリト云
 云ルモ左様ナルカ、リニアルモノハト云ナリト云ナリト
 伯夷傳ニ豈以其重若彼其輕若此哉トイヘルハ天下ヲ
 重ニスルモノハト云レモト云レモト云レモト云レモト
 シズルハト云レモト云レモト云レモト云レモト云レモト

ルカト云ナリト云武帝紀ニ其春公孫卿言見神人東萊山
 若云見天子トイヘルハ神人ヲ東萊山ニテ見タルニ天
 子ニ見ユルグト云タルヤフニオホエタリト云ナリト
 方士更言蓬萊諸神山若將可得トイヘルハ蓬萊方丈等
 ノ海中ノ諸神山ノヲ言フトコロノ辞ツキカ得テ至
 ラル、トニナリフナルヤフスニ聞エタリト云コ、
 ロナリ右ノ如若ノ二字尚下條ニ辨ズベシ先ヅ不如ト
 不若ノ別ヲ言ハ、此モ物ノカワコフノ程ヲ立テクテ
 ベテ言フニハ、不如ナリ史記高祖紀ニ決勝於千里之外
 吾不如子房ト云ルハ其処ニ智ノヨクト云キマワルノ
 程ヲクテラベテハ吾才畧ハ子房ホドニユカヌト云ナ
 リ項羽紀ニ此天亡楚之時也、不如因其機而遂取之ト云
 ルハ其機會ニツケコ三往キテフレヲ取ルト云シテ仕
 舞ホドノヲニ外ノシカタハユカヌト云ナリト云ナリト
 二得黄金千斤不如得季布一諾トイヘルハ黄金千斤ヲ
 得ルトハ餘ホドノ徳ノ付キタルタシカナル利ナレモ

季布カ其事ヲ肯テ許容シタル其ノ諾ノ聲ヲ得タルホ
 トノタレカナル利ヲ得タルホドニユカ又ト云一ナリ
 高祖紀ニ且ト並之莫如劉季最吉トイヘルモト並ノ兆
 ノ上ニテフレホトニユクモノハ外ニハ出テ來又ト云一
 ナリ蘇秦傳ニ秦之所害莫如楚トイヘル右ニ同シコ
 ロモチニテ總ジテ不如ハ一ツト一ツトクラベテ其ナ
 リユクサキノ一ノ程ノフレホトニユカ又ヲ云ス莫如ハ
 多物ノ中ニ合セ思ヒハカリテコレホトニユク一ハ外
 ニハ出テ來ルマジト云キ三ナリ孟子萬章ニ信斯言也
 宜莫如舜トイヘルハ舜ノ不告シテ聚ルガ如クスル一
 ナカルベシト云一ニテ此例トハ別ナリ又不如ニ一
 ノ此ト異ナルアリ論語ニ夷狄之有君不如諸夏之亡
 云タマヘルハ禮義ノ無キ夷狄ノ其君ヲ有ルモノニシ
 立テユク一ハ諸夏ノ天子並ニ各其國ノ君ヲハ亡キ同
 前ニナシユクホトニハユカ又ト云コ、ロニテワサト
 相反シタルトコロヲ矩ニ立テ言ヒ給タル冷語ナリ

莫若ハ史記越世家ニ為越計莫若結齊親魏附晉以厚
 トイヘル蘇秦傳ニ今王若欲因禍為福轉敗為功則莫若
 挑齊而尊之トイヘルノ類並ニ其事若クハ物ノサシ
 アタリタル一ニ取リ合ヒテ事ノウツリノヨキヤフニ
 モチアフベキ一ガコレニカケムカフベキ一ハ出テ來
 ル一アルマジト云一ナリ不若モ右ニ似タル意持ナレ
 此モヤハリ一物ト一物トヲ懸ケ合セテ其取リ合ヒ
 シウツリノモチアフベキ一ガコチラノ様子ニハカケム
 カワ又ト云一ナリ史記淮南王傳ニ紂貴為天子死曾不
 若匹夫トイヘルモ死シタルトコロカ匹夫ノ死シタル
 様子ニモカケムカハ又ト云一ナリ張儀傳ニ善為王計
 者不若陰合而陽絕於齊トイヘルハ語勢莫若ト相似タ
 ル処ナレ此ハ楚王ノ齊ノ交ヲ絶シテ秦ニ與セシト
 思ヘル計ニ對シテ陳軫ガ此策ヲ言タル一ナル故ニ不
 若ト云ルナリ此如若ノ別尚下ニ辨ズベシ

猶

此本獸名ニテ。説文ニ。獲屬。从犬。猶聲。トアリ。集韻ニハ。居山中。聞人聲。豫登木トアリ。爾雅釋獸ニ。猶如鹿。善登木トイヘリ。余意ニ。鼪ハ余救切ニテ。音猶ニ近ク。正韻ニ。鼪ヲ注シテ。野鼠善登木トアリ。獸ハ異ナルベケン。氏畢竟其性ノヨク似タル物ナル故ニ。其登木モ同ジクテ。聲モ近キヲ以テ呼ブナルベシ。鼪ハイタチノフニテ。此ハ其性疑ニ多キモノニテ。サテ。フト通りカ、リタル道ガツケハ。イツモ其通りノ道ヲユクモノナリ。助語ニ用ユルニモ。史記ニ。老子其猶龍邪トイヘルハ。龍ト同シス。チニユクモノカト云フナリ。張儀傳ニ。夫秦卒與山東之卒猶孟賁之與怯夫トイヘルハ。孟賁ト怯夫ト戰ハセルト。同ジス。チニユクフナリトイヘルナリ。世説言語ニ。桓公北征。經金城。見前為瑯琊時種柳。皆已十圍。慨然曰。木猶如此。人可及堪トイヘルハ。歳ヲフルニシタガヒ。其氣候ノ轉化スルニ。驅テ。其身ハ老ユクフニナルフガ。木ノ質ノ剛ナルスヲ。同ジス。チニユクフ。此柳ノ如クナレバ。人ノ身ノ

苟

体質ノ柔脆ナルハ。何ヲ以テコタエテセワルフナク居ルフヲ得ヘキヤトイヘルナリ。凡ノ猶如ヲ連用スルハ。皆此ヲ以テ例シ知ベシ。法華經ニ。三界無安。猶如火宅トアルモ。三界イヅレモ同ジ通りニテ。火宅ノ如クニアルブト云フナリ。

此ハ物事ノ末ヲ推スマテニ至ラスシテ。今ノ出合ガシラノ所ニテ。抑ヘテ言フニ用ユル字ナリ。詩魏風ニ。人之為言。苟亦無信。舍旃舍旃。苟亦無然。人之為言。胡得焉ト云ルハ。人カ物言フフラスルニ。我ハ先ツ其出合ガシラニ信スルフナカラニト云心ヲ立テ。フレヲ聞棄テニセシト云フモアルフナルガ。其心ノ興リタル出合ガシラニモ。左様ニユクフニスルフ無クセントシ。人ノ物言フフラスルヲ。何ニヨリテ。彼ガ様ニ言フフヲ得タルゾト思ヒテ。工夫ヲ付ケテ。ソレヲ聞タルガヨキブト云フナリ。大雅抑ニ。無易由言。無曰苟矣。莫捫朕舌。言不可逝矣トイヘルハ。言ハシト思フニ。ソレニノリテ。ソカクト言出

ス。トテ無クセヨ。出合ガレラニテ。フト言ヘリト云。コト
 ワリテ言フヤフナル。ト。無キヤフニセヨ。我舌ヲヒ子
 シテ。舌ヲトガムルヤフナル。ト。出テ來又様ニセヨ。言
 出シタル言ハ。ノケタクテモ。モハヤノケラレ。ニシキゾ
 ト云コトナリ。論語ニ。季康子患盜。問於孔子。孔子對曰。苟
 子之不欲。雖賞之。不竊。ト云タマハルモ。チヨツトシタル
 処ニテ。子ヲバ盜。トテ欲セサル人ト云ヤフナル。評ヲス
 ル。トニサエユクナラバ。タトヒ盜。トテ賞スル。氏民ニハ
 盜竊ノ。トハ為ス。マジト云。トナリ。又子謂公子荆。善居室。
 始有曰。苟合。知少有曰。苟完。知富有曰。苟美。矣。ト云タマヘ
 ルモ。居室ノ居ハ。置ノ意ニテ。室中ノ入用ノ諸道具ヲト
 トノウル。トテイヘルナリ。始メ其道具ノ有ルニシタル
 トキニ。チヨツト當分ノ処ガ。間ニ合フ。トニサエナレバ
 ヨシト云ヒ。少々道具ノ有ルト云トキニ。チヨツトコレ
 ニテ。何モカモ間ニワタル。トニサエアレハヨシト云ヒ。
 數ニ富ミタルトキニ。チヨツトコレニテ美ナル。トニシ

テ行カレ。ト云サエナレ。ハヨシト云ルコト。口モチナリ。又
 荀正其身。於從政乎。何有。ト云タマハルモ。チヨツトシタ
 処ニテ。其身ヲ正フ。セントスル。トニサエ志行ガ往ク。ト
 ニナラバ。政事ニ從フニ於テハ。何人不相應ナリ。ト云
 アランヤト云タマヘルナリ。孟子盡心ニ。苟以是心。至斯
 受之而已矣。トイハルモ。チヨツトシタル処ニテ。是心モ
 チヲ以テ至ルヤフニサエアレハ。ソレヲウクル。トバカ
 リニテ。外ノ念ハイラヌト云コトナリ。サレバ此荀ノ字。
 チヨツトシタル処ニテ。コレニサエナレバト云キニモ。同
 ジ。トナリ。史記張儀傳ニ。苟與吾地。絕齊。未晚也。トイヘル
 モ。其高ノツモリノ処ガ。楚ヨリ吾ニ地ヲ與ル。トニサエ
 アレバ。齊トノ交ヲ絶シ。トハ。イマダ晚トハセザル。トナ
 リト云。トナリ。淮南王傳ニ。王曰。苟如公言。不可徵。事邪。ト
 云ルモ。チヨツトシタル処ガ。公ノ言ノ如キキリノ。トナラ
 バ。徵事シテ得ル。トニハスベカラサルカト云。トナリ。サ
 テ右ニ引ケルハ。多ク皆語上ニ置タル例ナリ。又語ノ中

程ニ置ケルアリ。史記樗里疾傳ニ曰、秦兵苟退、請必言子於衛君、使子為南面ト云ル是ナリ。今アル所、秦ノ兵ガ子ヨツトシタカ、退クニサエ往テ、ハナリ。吳王傳ニ、今諸王苟能存亡、繼絕、振弱、伐暴、以安劉氏、社稷之所願也ト云ルモ、今諸王ノ内ニ、子ヨツトシタルカ、コレクノニサエユカ、ナラバ、社稷之所願也トイフナリ。

儻

此ハ人ノ存ジヨリノ内ニ、此ハ有リ内ノトスルニハ、外ニシ思フ、其外ナルニウケサスコ、ロニシテ語ルニ、儻ト云、儻ト云ハ、物ノ存外ニ出タルヲ云、莊子大地ニ、儻乎若行而失道也トイヘル。繕性ニ、軒冕在負、非性命也、物之儻來寄也トイヘル。天下ニ、時恣縱而不儻トイヘル。並ニ事ノ存ノ外ニナリユクヲ云ヘリ。助、辭ニ用ユルニモ、右ニ同シク、存外ニユクヲ以テ稱ス。史記伯夷傳ニ、儻所謂天道是邪非邪トイヘルモ、此儻字、語勢ノハツニヨリ用タルモノナリ。其故ハ、此處ヨリ上ノ文ニ、天

即

道福善禍淫ト云、ラモチ立テ、言フ、儒者ノ説ノ趣ヲバ、ハ、ハ、ニ満シテ書タル故ニ、此處ニテハ、俄ニソレト異ナル事ヲ以テ、其處ヘサシコニテ言フ故ニ、存外ナルトニナリユクヲアリテ、其事非ナリト云、ハナラヌトカト云ベキヲ、尚モ一先ヅオサエテ、ヤハリ是邪ト云ヒ、サテ後ニ非邪ト云語ヲ置キタルナリ。史記ニ、尚此儻ヲ用タル例ヲ、助字法ニ、多ク載置タリ。併セ考ヘシ。漢書董仲舒傳ニ、黨可得見也トイヘルモ、ヤハリ存ノ外ニト云コ、ロモチナリ。

此字釋己ニ前ニ出ス、此ニ明スハ、其モシト讀ムヘキ處ノ別ナリ。此トキハ、即就ノ義ニテ、ソレモワキヘナラズニ、ソノ段ニツクト云コ、ロナリ。史記李將軍傳ニ、其騎曰、虜且近、即有急奈何トイヘルハ、急ニフメヨルト云、ノアル段ニツキタルトキ、奈何ト云フ意ナリ。李布傳ニ、將軍能、聽臣敢獻計、即不能願先、自到トイヘルモ、計ノトオリラ能セ又ト云段ニツク、ナラバナリ。袁盎傳ニ、

脱

使君所言公事之曹與長史據議吾且奏之即私耶吾不受私語トイヘルモ私ナリト云段ニツクトニ往クナラハナリ但シ此ニモ正傍ノ兩段ト遠近ノ兩段トノ差別アリテ正ニカ、ラスシテ傍段ニツキ、近ニハブレテ遠シト思フ段ニツクヲ云、並ニ此即字ヲ用ユヘシ。

此ヲモシトヨムヤフニ使ヒタルト後世ノ文ニ間見ユ正面ノアタリニスベキヤフトハブレユキテ云コ、口ニ用ユルナリ此本其物ガ極メテ其中ニカ、リ入り居ル物ニナルベキカフトハブレヌケテ出ルトニナルヲ云、後世ノ文ニ此字ヲ助語ノ若ノ意持ナル処ニ用タルアリ、何氏語林ニ、三國典畧ヲ引キテ書ケルニ、後桑ノ何山ト云者射ヲ善クシタルガ、蕭魯カ庭樹ニ鳥アリ、巢ヒタルヲ蕭フレラ惡シテ射中テハ一車ノ穀ヲ賜ハントテ射サセシニ其鳥ノ雜ノ枝上ニ並ヒタルヲ見テ何山曰、脱一箭中、兩請賜、兩車トイヘル文アリ、此ハ其雜ノ並ビ居ルヲ見タルニ付ケテ言ヘルナリ、射中ル所ノ

如若

矢先ガ、一羽ニ止マレハツナレド、フト其矢鏃ガ打コシ出テ、二羽ニ中ニナリタラバト云トナリ、此例尚外ニモ間多シ、今一々引徵スルニ違アラズ。

此如若ノ二字又モシト讀ムトアルニヨリテ、此ニハ其別ヲ辨ズ、如ハ、其事カ左様ナル坪へ持チコムホトナラバト云トニテ、向フノ物ノ、其ナシモテ往ク先キヲ思フニ、箇様ニ往カズハ、コレニ往クト云、其段ヲ設ケ付ケテ、其処ニ坪ヲ立テ、ブレヘ持チコムト設ケテ言フナリ、論語ニ、季氏使閔子騫為費宰、閔子騫曰、善為我辭焉、如有復我者、則吾必在汶上矣、トイヘルモ、今其カ云コシタルヲ聞入レテ、復使ヲ越シテ強ルトアラント云、其段ヲ設ケ付ケテ、坪ヲ立テ、ブレヘモチコムホドナラバ、我ハ汶上ニ去ルベシ、ブレニ及バヌヤフト云キ、三ナリ、子貢曰、如有博施於民而能濟衆、何如、可謂仁乎、トイヘルモ、今コ、ハ、人アリテ、其行ガ博施於民而能濟衆ト云トニアタルト云フ段ナル坪へモチコムホドナラバ、

ナリ。史記孔子世家ニ魯今且郊如致膳乎大夫則吾猶可
 以止。ト云給ヘルハ魯ノ執政ノ為ルトコロガ致膳乎大
 夫ト云段ナル坪ヘモチコムホトナラバト云ナリ李
 將軍傳ニ惜乎不遇時如令子當高帝時萬戶侯豈足道哉
 トイヘルモ子ハ高帝ノ時ニ當ルト云段ナル坪ヘモチ
 コマスホドナラバナリ。又如有有如ノ別アリ有ハ有
 ノ字ガ目當トナルナリ。此様ナルノガ其所ニ有ルニナ
 ツタルハト云フ時ニハト云コ・ロナリ。サレバ其下ヲ
 承ル勢自カラフレニナレバ此ノハカヤフニナリユク
 ベシト云フ言フガ又ハ其ナリユクベキニ付ケテノ
 サンダンヲ言フヲ專トスルノナリト知ルベシ。史記
 商君傳ニ曰公叔病有如不可諱將奈社稷何トイヘルモ
 公叔死セリト云フノアルニナリタラバ社稷ノ事ノ裁
 判ハ闇夜同前ニナリユクヘケレバ社稷ヲバナニトセ
 フゾナリ。韓長孺傳ニ有如太后宮車即晏駕大王尚誰攀
 乎。ト云ルモ太后晏駕シ給ヒシト云フノアルニナリタ

ラハ大王ノ肩ヲモツモノハ無キトニナリユクヘケレ
 バ。王ハ其時ニ尚誰ヲ攀テ便ニセントシ給ハンヤト云
 フナリ。詩王風大車ニ謂予不信有如皦日トイヘル有
 ハ左傳ニ有如河ト同ジトニテ有ハ並ニ明白ニ心ニ徹
 レ知ルトニナルトアルト。皦日又ハ今見ル河ノ如キト
 アルベシト云フニテ有字ノ下ニ畧析アリ。此有如トハ
 別ノトナリ。如有ハ如ノ字ガ目當トナルナリ。ケ様ノ
 一ガ有ルニナリタルハト云様ナルトニ其程ラヒガ往
 タル時ニナリテハト云コ・ロナリ。サレバ其下ヲ承ル
 勢自カラフレニ出合ヒカ、リテノ其時ニハト云フノ
 語勢多シト知ルヘシ。若ノ字ハ前ニモ云ル通りニテ物
 ノ様子ノカ、リ人ノ心ニウツリテ覺ユル処ニヨリ
 テ言フ字ナル故ニ別チテイヘバ。如ハ外ニテ物ノホド
 ヲ立テ、言ヒ若ハ人ノ心ニフレウケイル、ニ幾層
 ニモ入レ予ヲ立テ置テ其ガ來ルサマヲ我其ウケイル
 ルカ、ト云ニ合セテ言フ意モチナリ。周語ニ若布德於民

而平均其政事君子務德而小人務力動不違時器不過用財用不匱莫不共祀トイヘルハ徳ヲ布クト云ヨリ不匱ト云フマデノヤフニアレバ祀ニ共ゼ又ト云フハ出テ來又ト云フナリ齊語ニ使鮑叔為宰辭曰臣君之庸臣也君加惠於臣使不凍餒則是君之賜也若必治國家者則非臣之所能也若必治國家者則管夷吾乎トイヘルモ君ノ臣僚ニゼヒニケ様ノ事ヲサセタシト望ムル其モノト云ベキカ、リニ往カント云フニハ臣ガ能セントコロニ非ス其カ、リ往カント云フニハ管夷吾ナラント云フナリ史記越世家ニ勾踐賢君范蠡良臣若反國將為亂トイヘルモ國ニ反ルトニ其カ、リガナリユクフニナリタラバナリ越世家ニ自今以來若有召王者必見我面トイヘルモヤハリ其事ノナリユキカケ様ナルカ、リニナリユクフニナリタラバナリ又至若クシカノ三ナラズトヨムトキモ此讀ニ拘ハルヘカラスヤハリケ様ナルカ、リニナリユクフニイタルマデト云フナリ

足

史記吳王濞傳ニ其以軍若城邑降者率萬人邑萬戶如得大將トイヘルモ其物ノ同ジカ、リニケ様ナルカ、リノ品ナド云コ、ロモチニテ若字ヲ用ユルナリ此ハ彼ヲバコチラノ内ニ持ツトニナシオコシテ見ルニ此方ノ内ニノキテ其ヲ承ケ内ニモツ、ニスルニブレガユクフノハブレカカ、ルトニナルヲ語ルニ足ト云略シテ言ヘバテウトフレガ此方ノ内ニモツトニナルニ合フト云カ又ハテウト程ニ合フト云フ意持ナリ目ノ視ルダケノトコロへ踏ミヤリテ往クトガテウトルニモヤハリ同シコ、ロモチナルトナリ易ノ乾文言傳ニ君子体仁足以長人トイヘルモ君子ハ仁徳ヲ行フトニ己ガ身ニ体シテ常ニフレト相離レサルトニスル故ニ人ノ善ヲ長ズルニテウトホドカ合フトニナルト云フナリ論語ニ夏禮吾能言之杞不足徵也ト云タヘルハ夏ノ禮ノ主意ノ立チタルトコロヲ吾ハ能ク言フ

べケレ也。把國ニ殘リ傳ヘアル。禮文ノ憲則トナルベキ
 モ寡クテ、証據ニ引ツケテ言ハントスルニ、其物カズ足
 ルヲニユカヌト云フナリ。サレバ、此足ノ字ハ、イヅレニ
 モ、此方ノ内ニ持テアル物ノ數度ノ分量、或ハ其精カノ
 及ボセル分際ガ其為シユク事ノ間ニワタリ末マテト
 ドク、トニナリユク、ト云字ナリト心得ヘシ。論語ニ、我
 カ猶足肆之市朝トイヘルモ、己ガ勢力ノ及ボセル分際
 ガ、彼ヲ刑シテ、其尸ヲ市朝ニサラスニナルマテトク
 ニナラフト云フナリ。晉語ニ、足者不處處者不足ト云ル
 ハ、足出君ト云フニテ、出君ノ二字ヲ略折シタルモノナ
 リ。世說規箴ニ、嵇康臨去、登曰、君才則高矣、保身之道不足
 トイヘルハ、其才智ノハタラキヲ用ユルトコロガ、人ニ
 忌マレ惡ムレテ、禍ヲイタシ身ヲ喪フニナルベシト
 云フヲ、保身之道不足ト云タルナリ。夙惠ニ、韓康伯數歲
 家酷貧、至大寒、止得襦、母殷夫人自成之。令康伯捉熨斗、謂
 康伯曰、且著襦、尋作複幘、乃云、己足不須複幘也。母問其故、

者

答曰、火在熨斗中、而柄熱、今既著襦、下亦當煖、故不須耳。ト
 イヘルモ、モハヤ十分ニ行キト、クベシ。復幘ニハ及ブ
 マジシ云タルコ、ロモチナリ。
 此字ハ物ヲナラベテ言フ内ニテ、其内ノ一物ノトコロ
 ニ、別ニ一ツノスデノ、其間ク人ノ意ヲ引ウケテ、ソレニ
 カ、ラセテ思ワストコロヲ支テイフ意モチニ用ユル
 字ナリ。略シ言ハシ、此方ノモノト云コ、ロニ見ルベシ。
 易繫辭傳ニ、一陰一陽之謂道、繼之者善也。成之者性也。仁
 者見之、謂之仁。知者見之、謂之知。トイヘル、一陰一陽トナ
 リテ、自然ニ行ハレテ己ムフナキヲハ、道トイフガ、人ノ
 道ニテハ、ツトメテソレヲ繼クテ、一陰一陽ノ道ニナラ
 ヒテナレユクヲ善ト名付ケ、其善ニスル氣クセテ、己ニ
 成就スルヲ性ト名ヅケル、ナルガ、仁ヲスル方ニテハ、
 フレヲ見テ、ソレヲ仁ト謂ヒ、知ヲスル方ニテハ、ソレヲ
 見テ、ソレヲ知トイフト云フナリ。中庸ニ、君子之道三、五
 未之能也。知者不惑、仁者不憂、勇者不懼。トイヘルモ、君子

之道ノ由テ行ハル、所ニ三ツノ徳アリ、即知仁勇ノ三徳ニテ、此三徳ヲ失ハザレバ、君子ノ道ハ、フレニ由リテ行ハル、トナルガ、其知ト云方ニテハ、惑ハザルヤ、フニスルトニテ、知ヲ得ルトナリ、仁ト云方ニテハ、憂サルヤ、レザルヤ、フニスルトニテ、勇ヲ得ルトニナルト云、トナリ、サレバ者ノ字ハ、其端々ヲ引ワケテ、一ツツ、スエテ語ラントテ、者ノ字ヲ用タルモノナルヲ、後世ノ儒者、仁者トイヘバ、行人ノトナリト心得テ、混同シテ分チナク、ソレヲ説キタルハ、疎謬ナルトナリ、又凡ソ物ノ端ヲナラベテ言タル内ニテ、一ツヲ引又キテ、フレヲ釋スルニ、古文ニハ、必ズ也者ト書ケリ、中庸ニ、天命之謂性、率性之謂道、修道之謂教、道也者、不可須臾離也、トイヘルハ、道トイヘル方ノワケハ、須臾離ベカラズト云、トナリト云コ、口ナリ、易繫辭傳ニ、卦有大小、辞有險易、辞也者、各指其所之、トイヘルモ、引ワケテ、其一ツヲ釋スル故ニ也者

ト書ケリ、晋語ニ、前ニ言ナラベタルト無クシ、臣君也者、トカケルアリ、ヤハリ、暗ニ臣ハカヤウニアルベシ、ト云意ヲ合ニタルニアタリテ、書タルコ、口モチナリ、史記張儀傳ニ、因與秦王約、曰、為王計者、東方有大變、然後王可以多割得地、トイヘルハ、則ノ字ニ似タル使カタニ似タルモノナルガ、此ハ為王計ルニト云、トニスルニハ、ト云コナリ、又昔ト云ハズシテ、昔者ト書キ、今ト云ハズシテ、今者トイヘルノ類ハ、今又ハ昔トバカリニテハ、唯其時ヲ、チ、ヨト、其ヲ以テ別チラ立テ、目シルレヲ立ルベシ、トニ言ヘルコ、口ナリ、昔者今者トイヘバ、其処ヲ一舞臺ニシスエテ、其指シ言フ人ノ形状、又ハ心内ノ意思等、テ言フニハ、並ニ皆者ノ字ヲ用テ書クコナリ、詩小雅ニ、壹者之來、云何其昧、トイヘルタ、壹ダヒト名ヲ付タル方ノコニテ來ルコナリ、何トシテ其レ見ハリテ來ラザルヤト云、コナリ、孟子ニ、樂正子春、が孟子ニ對ヘテ、己が齊ニ來リシヲ、昔者トイヘルモ、舍館ヲトリタルハ、昨

日ノ事ナリト云ヒテノ左様ニアリタル処ヲ置ヘテ
語レル故ニ昔者ト云ルナリ是等ニテ古ノ者字ヲ用ユ
ルノ昔ヲ考ヘハ思半ニ過クベシ。莊子逍遙遊ニ子獨不
見狸狴乎卑身而伏以候教者トイヘル。教者ハ鼠ヲ指シ
イヘルナリ。此ハ人狸狴ヲトラント云機辟ヲ設ク罔罟
ヲ置キテ鼠ヲ其前ニツナギテ見セテフレニ近
ヨラセテ取ルヲイヘル。文ナルガ鼠トイハスシテ教
者トカキタルハ狸狴ヲ取ルニ鼠ヲ以テツリヨスルハ
知レタルヲナル故ニ鼠トハ言フニ及ハズ。且鼠ノ遊教
シテハ子マハルヲハ狸狴ガ一心ニツレニ目ヲツケテ
ツケハハス処ヲモタセテ下文ノ東西跳梁ノ文ヲ引出
サニガ為ニ教者ト書ケルナリ。世說規箴補ニ謝靈運ガ
父秘書瑗不慧ニテ早ク亡セタリシガ靈運ハ好シテ人
物ヲ臧否セシヌ其叔混ソレヲ患テ謝瞻ニタノミテツ
レヲイサメシムルニ靈運ガ人物ヲ高較スル時ニ宣遠
謂之曰秘書早亡談者亦互有同異靈運默然言論自此衰

果

止トイヘルハ父瑗ノ早ク亡セ給タルニテモ其モトノ
人物ヲ評論シタマフニ付キテ談スル者ノ方ニモ引出
シテサマクニ評論スルヲアルベシト言タルナリ。後世
ノ文ニテモ者ノ字ノ使ヒ方ハヤハリ同シ氣味ニテ其
方ニテハナト云キニ引ワケテ置エテ言フキニナリ
此ハ事ノ往キ端ヲ我心アタリニ此ニトマルベシトシ
タルヲ心アタリノ如ク其往ク先ニワテレトナリ
タルヲニシテ言フニ用ユ略シテ言ヘハ案ノゴトクト
云氣味ナリ。莊子齊物論ニ既使我與若辨矣若勝我我不
若勝若果是邪我果非也邪トイヘルハイヨク其勝タル
イオリニ若ガ是ナルカト云キニナリ。天道篇ニ視而可
見者形與色也聽而可聞者名與聲也悲夫世人以形色名
聲為足以得彼之情夫形色名聲果不足以得彼之情則知
者不言言者不知而世豈識之哉ト云ルモヤハリイヨク
其トオリニ遠ナク形色名聲ニナリ。彼ガ情ヲ得ルニ足ラ
ヌハト云フナリ。虛字ニ用ユル果敢果決ノ類ハ易蒙卦

ノ大象ニ君子以果行育徳ト言ヒ、論語ニ言必信、行必果ト云シマヘルモ、並ニ其最初ニ左様ニセシテシカカリタルヲハ、其言タル通りニ為シユクヲ言フト同ジ氣味ナリ、史記梁孝王傳ニ、竇太后哭極哀、不食曰、帝果殺吾子ト云ハ、アノゴトクナリ、孫子傳ニ、期曰、暮見火、擧而俱發、麗消果、夜至斫木、下トイヘルハ、並ニ皆アノゴトクト云フナリ、後世ノ文字中ニ用ユルモ、大抵同シキニ二元カハルヲナシ、

必

物事ノ往ク先ニテ、カヤウクノトマリニナルベシト云フヲ、コ、ロニテ推シテク、リテ言フニ用ユ、此字ニ古ヨリニ様ノ使ヒカタアリ、一ツニハ、我が行ヲサキニテゼヒニケ様ニスベシトク、リテ言フニ用ユ、論語ニ言必信、行必果モ、此コ、ロナリ、魯語ニ、夫失其政者必毒於人、魯懼及焉、不可以不恭、必使上御從之トイヘル、此必使ノ必ノ字、ゼヒニケ様ニスルヲニシユカフトスベシト云フナリ、政ヲ失フ中ハ、諸侯ノ晋ニ叛クヲニナル

ヘシ、左アラハ諸侯ヲバ晋ヨリ討伐スベシト云フ又毒於人ト言タルナリ、論語ニ、閔子騫ガ我必在汶上矣トイヘルモ、季氏ヨリ再應言ヒ越スヲニナラハ、我ハゼヒニ汶上ニ逃レユクヲニ覺悟ヲキハメテ居レリト云フナリ、一ツハ彼ガ事ノ出テ來ルヲ推シ揣リテ、ゼヒケ様ニユリユクヲニナルベシト云フナリ、右ノ魯語ノ貳、必失モ即是ナリ、齊語ニ、使鮑叔為宰、辭曰、臣君之庸臣也、君加惠於臣、使不凍餒、則是君之賜也、若必治國家者、則非臣之所能也、若必治國家者、則管夷吾乎トイヘルハ、君ノ臣ヲ用テ宰トナラセ給フ思シ召ノトコロカ、モシ國家ヲ治ルヲラセヒニサセニト云フナラハ、臣ガ所能ニ非スト云フヲナリ、論語ニ、必也聖乎、又必也射乎、又必也使無訟乎ト云給ヘルノ必也ハ、ゼヒニ左様ニアルカト詰問ハル、一ナラバ、少シ左様ニユカ又トコロカ、一條アリト云コ、ロノ時ニ、此必也ト云辞アルヲナリ、史記淮陰侯傳ニ、王計必欲東、能用信、信即留トイヘルハ、ゼヒニ

東シスルヲ欲スト云フナラバナリ。又王必欲長王關
中無所事信ヲドイヘル。此必欲ノ二字心得アシケレバ
或ハ欲必ト顛倒シテ書クニナル。此ハスベテ
此処ノ文勢ノトノニ非ズシテ全体ノ文字ヲ讀ミテ
其義ヲ取アツカフ心得ノ相違アルヨリ起ルナリ。セ
ヒニ東シセント云セヒニ長ク關中ニ王タラント云フ
ヲ其東シ關中ニ王タラント云フヲ直ニ實事ニウツシ
思ヒテ心得ル故ニ必ノ字其事ニカ、ル意味トナリ聞
ユル故ニ左様ニハナルナリ。ケ様ニ總別ノ文字ノ發
ヲ意得ルヲバ、名ヅケテ實ニモタルト云大ニ文理ヲ
取り失ス。第一ノ謬見ナリ。凡ソ文字ハ何事モ多クハ皆
其事ニ名ヅケ云辭ニテ必欲東ハ東セント欲スルト云
フス。セヒニセント思ヒ必欲長王關中ハ長ク關中ニ王
タルヲ欲スルト云フス。セヒニセント思フト云フニ
テ欲字ノ旨下ノ數字ニカブル故ニ並ニト思フト云フナリ。九
ルト云辭ヲ付クルヲ必ニセント思フト云フナリ。

期

ソ一切ノ文字又並ニ皆此ノ如クニ心得テ讀ベキ。肝
要ナリ。世説言語ニ孝武孝經ヲ講セシトシ給ヒシトキ
謝公兄弟諸人私庭講習セルニ車武子難苦問謝謂袁羊
曰不問則德音有遺多問則重勞二謝袁曰必無此嫌云
ルハ二謝ノ方ニハ此ノ如キヲ嫌フハ無シト云フニ
セヒアルベシト思フガヨシト云フナリ。謝公云賢聖去
人其間亦適子姪未之許公歎曰若郝超聞此語必不至河
漢トイヘルモ河漢ノ如クスルニ至ラズト云フニセヒ
ナルデアラフト云フナリ。
此期字ヲ必ノ字ノ如クニ用ユルヲ西漢ノ文ニ間見ユ
其例史記助字法ニ出セリトカクユク先キ左様ニユク
トコロへ是非ユクヤフニレテソ守ルト云氣味ナ
リ。史記周昌傳ニ漢祖其太子代ニトアリシヲ周昌口
吃シテ返答シタルニ臣期期不奉詔トイヘルモヤハリ
期ノ一字ニテユクサキニテモツコヲ易ヘサルヲイ
ヘル意ナルガ口吃ナル故ニ期々ト云ルナリ。

要

其物ハ向フヘユクサキヲモチユクヌソレカ来ルヲ
此内ヘウケルコトニシテ来ルコト、口ナリ、孟子ニ使數人
要于路ト云ルモ、其中途へ人ヲヤリテムリニ還ラレヨ
ト云タルコトヲ要トイヘルナリ、詩鄘風ニ彼美孟姜要我
手上宮ト云ルモ、中途ニテムリニ上宮ノ方ヘツレユカ
ントシタルコトヲ言ルナリ、史記自叙ニ六家要指ヲ論セ
シトアリ、此要指ト稱セルハ、タトヘバ儒家ニテモ、道家
ニテモ、其説ヲ逐一ニ述レバ、長々シキヲバ、中ニテ其ツ
マリノトコロヲ引取リテ稱言スルト云コト、口ナル故
ニ、名付ケテ要指トイヘルナリ、文中ニ多ク用ユル要ノ
字、並ニ皆右ノコト、口モチニテトカク其サキノツマリ
ノ処ヲ、中ニテ先ヘ逐コシテ、其ツマリヲ引取リ言フニ
必ス此要字ヲ用ユルコトナリ、史記游俠傳序ニ、要以功見
言信、俠客之義、又曷可少哉トイヘルハ、又功見言信ナル
ト言フ方ヲ以テ、ソレヲク、リツメルコトニシテ言ハ
トナラバ、俠客ノ義ヲブレニ又何トシテ少クベシト言

計

ハレヤフツヒト云コトナリ、後世ノ文ニ用ユルニモ、大抵
同シコト、口モチナリ
此字本物ノ數ヲ十ツ、ニツモリ合セルノ義ナル故ニ、
必字ニ似タル使ヒ方ノ時モ、ヤハリ其コト、口モチナリ、
史記留侯世家ニ、余以為其人計、魁梧奇偉、トイヘルハ、留
侯ガ人物ノ格好イカ、ト目算ヲイル、ニ、其底ノワマ
リノ合フトコロカ、魁梧奇偉ナリト云コトニテアルベシ
ト云コトナリ、信陵君傳ノ計、不獨生而令趙亡ト云ルモ、目
算ヲイル、其ツモリノ合フトコロカ、獨生而令趙亡トビ
シムルコトニセヌト云コトニテアルベシト心得ヨトイフ
コトナリ。

其

此其字、六書精蘊ニ、此古字、其ノ字ニテ、甘ハ彼ガ机ニカ
カリテ、碁局ヲ扣ヘ居ル象ニテ、下ノ不ハ、此方ヨリ人
リテ、ソレヲ指シ言ヒテ、其スヂニシテ思ハスルコト、口
モチナリトイヘリ、音象ノ義モ右ニ同シ、サテ此其字ノ
使ヒ方ニ、甚タ入コニタル條、理アルコトニテ、右ノ條、理ヲ

知ラザレバ本邦ノ人ノ常言ニ用ユル其ノ字ト同ジ如
 クニナリテ其旨ガ文理ニアタラヌトニナリユクベシ
 サレバ共入コミタル條理ヲ詳辨セズハアルベカラズ
 詩用南ニ挑之天々灼々其華トイヘルモ心得ザルモノ
 ハケ様ナル処ヲ讀ミテ唯一通りノ語ナリト思フベケ
 レレ左ニアラズ此ハ桃ノ木ノミバエヨリ段々ニ長シ
 テ往クトコロヲ言フガ天々ナリ天ノ字即チ捨風隰有
 萋楚蕭々天々沃々ト云ル天ト同ジト心得ベシサテ右
 ノ如ク今其挑ノワカバエノ延ビユクトコロヲ言テ天
 天タリトスル段ヨリ飛コシテ花ノ咲時ヲ言ヒテ其処
 ニ人ノツレヲ見ルヲ言ハントテ其華ト言ヒ其華ト言
 ヒテツレヲ見ル処ニシテ言フ故ニ上ノ灼々ノ二字ヲ
 冒ラセ言フヲ得テ灼々其華トイヘリ其華サケルヲ
 灼々タリトシ見ルヲアラント言タルモノナリ下章ノ
 有萋其實及ビ其葉慕々モ此意ニ準ジ見ルベシ其他何
 レノ処ニテモ其ノ字ノアル処並ニ皆此トオリニ意ヲ

用ヒサスルヲナサントテ置キタル字ナリト心得ベ
 シ邨風ニ稀兮稀兮凄其以風トイヘルモ炎暑ニアタリ
 テ厚キ衣ヲ着ケ居リタルガツレヲ脱キ着カエテ締カ
 裕カラ着ケバ風ノスツシサガ身ニコタエテ凄然ト
 アリテ其着スエタル肌膚ヘ其締裕ノ薄キヲ以テ風ヲ
 吹キトオラストニナリユクベント云フナリ其ノ字ノ
 意ヤハリ上ノ同様ナル後世凄其ヲハ凄ニ熟シタル凄
 然ト同ジ如クニ心得タルハ疎ナル謬ナリサテ此其字
 ヲ古又ヨリツレト讀ムトニシテ用ヒタルト多シ其意
 味或ハ通ジカタキモノナリ此多クハ譯シテ其処ノ實
 ニナリユク処ヲ見ルナラハコレクト云ニナリユクベ
 シト云コハ口ニ用ユルヲナリ詩邨風ニ其虚其邪既亟
 只且トイヘルモ只今ノ其末ヲ見越シテ思フトコトニ
 テハ其処ノ實ニナリ往々処ヲ見ルナラハ虚ト云ニナ
 リ邪ト云ニナリユクベシト云タルモノカ既ニシテハ
 少シニテ早ク赴ト思フトニナリテスハルベシト云

ナリ。論語ニ知我者其天乎ト云タヘルモ我ヲ知レ
リト云モノヲ吟味シタラバ其処ノ實ニナリ往々処ニ
ハ天ガフレナリト云フニナリユクベキカト云フナリ
莊子逍遙遊ニ天之蒼々其正色邪其遠而無所至極邪ト
イヘルモ其処ノ實ヲ見タルトコロニテハ遠シテ至極
ニルトコロナキ故ニ右ノ如ク見ユルト云フニナリユ
クフニナルカト云フナリ左傳隱十一年ニ若寡人得没
于地天其以禮悔禍于許トイヘルモ此方ガ没シタル後
ニナリテ天ヨリ其処ノ實ニナリタル処ニテハ許ヨリ
天ニ禮アリト云フ以テ一旦許ニ禍セシラバ悔思ヒ
給フニナリユクフモ有ルベキカト云フナリ論語ニ
其然豈其然乎ト云タヘルハ公叔文子ガフヲ公明賈
ガ語ルニ夫子時然後言人不厭其言ナドイヘルハ公
明賈ノ其処ノ實ヲ見タルトコロニテ其トオリニユク
フノルカ其処ノ見キワメノ処ガ其實ヲ見タルトコロ
ニテ其トオリニユクフニナルフニアルベキヤト云タ

本

下ヘルニテ公明賈ノホノ過ギタルヲアヤシミトガメ
テ言タヘル辞意ナリト知ルベシ。莊子人間世ニ今吾
朝受命而夕飲水我其内熱與トイヘルモ我腹内ノ様子
ノ實ヲ推シタル処ガ内熱スト云フニアルカト云フナ
リ。范睢傳ニ以_レ其言臣者賤而不可用子ト云ルハ無乃ニ
似タル語意ナレト其処ガケ様クニアル故ト思フカ左
様ナルニテハナキカト云フナリサテ又フノトヨム処
ニモ古丈ニハ甚意ヲコメテ其トイヒタルアリ。易中孚
九ニ鳴鶴在陰其子和之トイヘルハ鳴鶴ノ陰ニ在ル
ハ外ヨリ其鶴ヲ見ルフナキトコロニテナク故ニタ
其子ノミワレヲ和スルフナラント云タルナリ。後世ニ
用ユル其ノ字タゞ右ノ如ク微細ナルフナク唯一通り
ナル処ハヤハリ古ト同ジナリ
此字其サヤフニアル其ノモノト云コトニ用ユサレ
ト此字古丈ニ多ク用ヒアリブレモ辞ヲ簡ニシテツメ
テ言フ辞ツキニ非ザレバ用ヒタルフナシ。詩大雅ニ驪

厥

不殄厥愠、不隕其問、柞、棫、拔矣、行道允矣、トイヘルハ、太王ノ周原ニ都ヲ立テラレシニ、常ニ其臣民ヲ使フニ、心ニ入ラヌ、トアルヲモ、ヤハリフレナリニ、其世話ノアリタルヲ、不殄厥愠トイヒ、其事ニツキテハ、問ヒシラベスレシトヲ、取落サズシテ、山ノ柞、棫ハ、拔ク、行道ハ、通りヨクナリタリト云フナルガ、其始終其事ニカ、リアラレタルトヲ見セテ、指サントテ、厥愠、厥問トイヘルナリ、易大、有九五ニ、厥孚交、如、威、如、吉トイヘルハ、其孚ノ意ニアラズシテ、其サヤフニアルニ付キテ、字スルトガ、交、如、威、如、タラント云ルナリ、揆、六五ニ、悔亡、厥宗噬膚、往、何、咎トイヘルハ、悔ノナキニナル、其サヤフニアルニ付キテ、ノ宗ガト云フナリ。

此ハ木ノ根ハ土中ニアルガ、其上ノ方ノアルヨリ、上ニナリアリテ、フノトコロヨリ末ヲ生シ出スモトニナリ、アル処ヲ指ス字ナリ、論語ニ、林、放、問、禮之本トイヘルハ、禮ト云モ、ハ、聖人ノ制作ナレ、聖人ノ制作ノトコロ

本

ハ、タトヘバ、物ノ雛形ノ如キモノニテ、其雛形ニスガリテ、學ビテ、其意味ヲ知りテ、サテ今日ノ事ヲ、其雛形ノ意ヲ取りテ、其ニ叶フ様ニ行フ為ニ設ケタルモノナル故ニ、有子モ禮之用、和為貴ト云ヘリ、禮之用トハ、禮ヲ用ユルニハ、和ニユクヤフニスルヲ貴トスト云フナリ、左傳ニ、禮也トイヘル、即チ是ナリ、林、放、ハ、右ノ雛形ヲ、今日ノ事ニ出シ行フヲ禮ト稱シテ、其禮ニイタシユタノモト立テ、ノ本トナシ心得ヘキヲ問ヘル故ニ、禮ノ本トイヘルナリ、又君子務本、本立而道生、孝弟也者、其為仁之本、與トイヘルモ、同シ、氣味ニテ、孝弟ノ心ヲ本トシテ、其カヨクスハレバ、其ヨリ外ノ義ハ、並ニ生シ出サレ、モノナル故ニ、仁ノ本トセニカト云意モナリ、孟子萬章ニ、立人之本、朝トイヘルハ、其國ノヨリ、其國ノ朝廷ヲ觀レバ、已ガスルノ法禁モ、又サシユルナル、トモ、並ニ其國ノ朝廷ヨリ起ルモノナリ、故ニ、本、朝ト稱スルトナレ、故、今、其國人ヨリ指シ稱セラル、本朝ト云処ニ、朝列

故

ニ雜ハリテ其延ニ立ツトイヘルナリ助語ニ用ユル
 ニモヤハリ其意味ニテ其事ノ根モトノオコリヲ稱ス
 ルニ用ユル史記彭越傳ニ彭越本定梁地功多トイヘルモ
 今彭越ガ事ヲ取リアツカハントスルニ全体彭越ガ漢
 ヨリ取リ立テラレタルモトノオコリヲ引出シテイヘ
 ルナリ南越傳ニ尉佗之王本由任置トイヘルモ任置ト
 云タモノガ本ノ根ニナリテ王タリシヲ云ルナリ後世
 ノ文ニ用ユルモ並ニ右ノ意ニカハルナリ
 此ハ今ニナラサル已前ノ処ニアリシ物ヲ指シテ稱ス
 ル名ナリ人ノ死シタルヲ物故ト稱スルノモ今ニテハ
 其人物ヲ已前ニハアリタリトノ三稱スルノニナリタ
 ルコ、口ニテ稱スル名ナリフレヨリ轉ジテ其人己故
 ナド云フアレ也故ノ字ハ死セルヲ稱スルニ非ズ史
 記李廣傳ニ李廣庶人トナリテ家居シテ居リシ時夜從
 騎出從人田間飲還至霸陵亭霸陵尉醉呵止廣廣騎曰
 故李將軍尉曰今將軍尚不得夜行何乃故也此廣宿亭下

録

トアリ此モ今ニナラサル已前ノ処ニアリシ李將軍ナ
 リト云フナリサレバ故ノ字ハトカタ下地ニアツタト
 コロテハガヤフノ物デアツタト云フ、口ノ時ニ並ニ
 此故ノ字ヲ用ユルナリ史記刺客傳ニ燕太子丹故嘗
 實於趙トイヘルモ下地ハ趙ニ人質トナリテ居タリシ
 處ノデアツタナリ同馬相如傳ニ長卿故僂游雖貧其人
 材足依也トイヘルハ長卿ハモト諸國へ游官シテソレ
 ニ僂タルモノデアツテ今ノ身分ナレバ貧シケレ也其
 人又材氣タノモシタ依ルニ足レリト云フナリ晋ノ頃
 ノ語ニ用タル故人字ハ此ト異ナリ世説言語ニ王子敬
 ガ羊叔子自復佳耳然亦何與人事故不如銅雀臺上妓ト
 イヘルハ羊祐ハ彼ハ彼ナリニヤハリ佳ナルトニハ往
 タリナリガ羊ガ死ハ何ノ人事ニ與ルヲアリテ峴山
 碑ヲ見ルモスガ涙ヲ墮スゾヤ其トタヒ人処又銅雀
 臺上妓ノ魏武ノ園陵ヲ望ミ見テ泣クボトノ實アル泣
 キ如クナラシトイヘルナリ謝中郎經曲阿後湖問左

雅

右此是何水也。曰曲阿湖。謝曰：故當淵注，渟蓄納而不流。ト
 イヘルハ、其水ノサマノ名稱ノ義ニ叶ハサルヲ言々
 ルナリ。曲岸ノ下ノ流ニハ、淵アルモノニテ、其岸ガシカ
 モ阿ラ岸トシタルナレバ、曲リテ其水ヲ取リカコユテ
 流シヤラザルガトダヒノアタリマエナルベシト云々
 ル意ニテ、此等ノ故ノ字ハ、並ニ皆トダヒニト云コ、口
 ニナリテ、漢ノ文ノ故ノ字ヨリハ意輕シ。
 此字字書ニ正也ト注シタルモ、甚粗ナル義ヲ以テ言ル
 ナリ。詩ノ小雅大雅ト稱シタルモ、往古ヨリオシ通リテ
 民ノ常ノアリ來リタルナラワシヲ稱シタル名ナリ。風
 ハ、土地ノ風氣ナドニヨリテ、様々ノカハリアレシ。其中
 ニテ、イヅカタニテモ、其民ノ常ハカワラス。一統セル風
 義アリ、其処ヲトリテ、家倫ノ日用、又ハ人事ノ常度ヲ以
 テ教ヘトシ述ヘタルガ、小雅ナリ。邦國ノ本ヅキ立テタ
 ル処ヨリ、天下ノ治乱ヲ常規ヲ以テ教トシ述ヘタルガ、
 大雅ナリ。又論語ニ、子所雅言トイヘルハ、詩書其外古禮

素

ノ制ニテ立チタル、宮室器物、其外事物ノ名稱ノ、今ト古
 言トノカワリタルヲ、ヤハリ皆古ヨリアリ來リタル名
 稱ノ音ニシテ、稱シ言ヒ給ヒタルヲ、雅言トイヘルナリ。
 李斯逐客書ニ、從俗雅化ハ、秦ノ風俗ノコレマデアリ來
 リタル化ノサマニシタガヒテユキテト云フナリ。サレ
 バ、助辭ニ用ユルニモ、ヤハリ右ノ通りノ意持ナリ。史記
 淮南王傳ニ、陳喜雅數與王計謀、反トイヘルモ、陳喜ガコ
 レマデノアリ來リノ処ガト云フナリ。蒙恬傳ニ、高雅得
 幸於胡亥、欲立之ト云ルモ、趙高カコレマデノアリ來リ
 ノ処ガト云フナリ。後世此字ヲ俗ノ反ニテ正ナリト心
 得タルスエ、粗キヲナルニ、或ハ風雅ト云フニモ、タレハ
 得テ世ニ一風カハリテ、ス子タルヤフナルヲ、雅ト心
 得タルハ、以テノ外ナル僻事ナリト知ルヘシ。
 此字白也ト注アレシ。粗ナル說ナリ。素ハモト布帛也ハ
 糸ノ類ヲ、五采ノ色ニ染ニトスル前ニ、其布帛カ糸ヲ、ハ
 水ニハレテ、其質ヲ清潔ニシテ、サテソレヲ染メザレハ、

下地ノ質ニ垢汚等アレバ色ノウツリヨクハエザル故ニ必ズ染ル前ニコレヲ為ス考工記ニ素功トイヘル即チコレナリクレヨリ轉ジテ染色ヲウクベキ下地トイハバトイヘルハ君子ハ其食養ヲウクベキユエナケレバワケナシニ人ノ食養ヲウケ居ルハセ又ト云ナリ史記貨殖傳ニイヘル素封ハ其身諸侯ニセラレテ封邑ヲ得タルトナケレト下地ヨリ諸侯同前ノ富ヲモチ居ルヲ云ナリ助辞ニ用ユルニモ此タヒ新ニ其ヘモツテワケル其下地ノウケノ質ヲ明シ言フニハ皆素ト稱ス史記酷吏傳ニ匈奴素聞鄧都節居邊為引兵去トイヘルハ鄧都ガ人がラノ事ヲ下地ヨリ聞居タル故ニ鄧都カ邊州ノ大守ニナリテ來タリト聞キテ人衆ヲ引ハレテ去リタリト云ナリ趙世家ニ靈公由此懼欲殺屠屠素仁愛人トイヘルモ看ハ下地ヨリ仁ニシテ人ヲ愛シタ

固

ル故ニ人趙看ヲ大切ニ思ヒテソレヲ助ケタル故ニ殺スヲ得ザリシヲ言ントテ先ヅ其下地ニヨリテ此度ノ事ヲウクルトナリシヲイヘルナリ世説文學ニ服虔崔烈ガ門人ノ為ニ賃シテ食ヲ作ス諸生ヲ相手ニシテ烈ガ説ノ長短ヲ叙セシニ烈聞不測何人然素聞虔召意疑之トイヘルモ下地ヨリ服虔ガ名ヲ聞居リタル故ニ右ノ様子ニテ其人モシハ服虔ニテハナキカト疑タリト云ナリ任誕ニ桓宣武家貧シク戲シテ大ニ打ケシニ袁耽ヲタノミテ往キテ債主ト戲セシニ耽素有藝名債主就請曰汝故當不辨作表彦道邪トイヘルモ表耽下地ヨリ博奕ニ長ジタル名アリタルカツレニヨリテ亭主ガ此日モ表ニ向フ元汝ハモトカラ表彦道カ手段ヲナスハ出來ニト云タリト云ナリ右ノ通リナル故ニ其使ヒ方後世トテモ古ト格別異ナルトナシ下地ノトオリノカワラヌト固ト云儀禮ニ客主又ト辞讓シテ請フアルトキニ初メ辞シタルヲ復請フト

カニ年母

固
キ、已前ノトオリニカハラズ、ヤハリ辞スルヲ固辞ト稱
ス、助語ニ用ユルニモ、ヤハリ同ジコ、口モナナリ、サレ
バ、助辞ニ用ユルニハ、其意少シ輕クシテ、シレタルカ
又ハ言フニモ及バヌ、ト言ハントスルニ、多ク此固字
ヲ用ユルナリ。莊子齊物論ニ、齧缺曰、子不知利害、則至
人固不知利害乎、トイヘルモ、子スラ利害ヲ知ラヌト云
ナレハ、至人ノトハ言モクダナルトニテ、利害ヲ知ラザ
ルカト云ナリ。南郭子綦隱几而坐、仰天而嘘、嗒焉似喪
其耦、ヲ見テ、顔成子游其前ニ立侍シテ居リシカ、曰、何居
乎、形固可使如槁木、心固可使如死灰乎、ト云ルモ、南郭子
綦右ノ通りニ、其形骸ガ作リツケタル如クナリテ居ラ
ル、カラハ形ハ言フニモ及バズ、槁木ノ如クナラシム
ベク、心モ言ニ及ハズ、死灰ノ如クナラシムベキカト云
ナリ。史記晏子傳ニ、知己而無禮、固不知在縲紲之中ト
云ルハ、和己ト云モノニテアリナカ、元禮ニスルナキ
ナラバ、言ニモ及バヌ、トニテ、縲紲ノ中ニ在ルニ如カズ

ト云ナリ。信陵君傳ニ、侯生笑曰、吾固知公子之還也、ト
イヘルモ、同ジナレド、コレハ侯生ガハジノニ公子ニ
告ベキヲ告ズシテ、公子ノ行クニ別レタル心ノ内ニ
其時ヨリシテ、公子ハ還リ來ルベシト知レリト云ナ
リ。後世ニ用ユルニモ、ヤハリ右ノ趣ニテ、格別ノカハリ
アルナシ。

助字詳解卷之三終

取字言解 卷之三
其初三十一...
各六...
下...
在...
...

文化十一年正月出版
明治九年五月十八日版權免許

編次者 故人 皆川淇園

京都府平民
出版人 藤井孫兵衛
上京第卅區御幸町御池下ル
大文字町五百四番地



